



令和元年度事業報告書

令和2年5月15日

浜松科学館指定管理者
乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

目次

I	指定管理施設の概要	
1	施設概要	1
2	指定管理者事業	1
	(1)指定管理者	1
	(2)指定管理期間	1
	(3)組織	1
	(4)浜松科学館運営委員会	2
	(5)共同事業体による運営支援体制	2
II	施設の利用状況	3
1	年間実績	3
2	施設利用者状況	3
	(1)開館実績	3
	(2)利用者数実績	3
	(3)入場者数実績	3
3.	利用者目標と達成状況	4
4.	利用料金と収入状況	4
	(1)科学館利用料金	4
	(2)利用料金収入実績	4
	(3)その他の利用料金	5
III	科学館事業	6
1.	展示運営	6
2.	特別展・企画展	7
3.	展示体験プログラム・支援ツール	7
	(1)展示ストーリーブック	7
	(2)学習活用ワークシート	7
	(3)科学学習情報システムの運用	8
4.	参加型学習	8
5.	プラネタリウム	9
	(1)投映スケジュール	9
	(2)投映番組	9
	(3)プラネタリウムの利用促進	11
6.	ミュージアム アテンダント	12
7.	連携協力事業	13
	(1)教育団体等との連携	13
	(2)教育関係機関等との連携	14
	(3)その他(研究機関や科学館との連携事業等)	15
8.	ボランティア活動支援	16

9. 調査・研究および収集・保存	16
10. パブリックリレーションズ	17
11. 視察・調査	19
IV 維持管理業務	20
1. 科学館の維持保全業務	20
2. 特殊機材・展示品等保守管理業務	21
3. 什器・備品等保守管理業務	21
4. 清掃・警備・防災関係業務	22
(1) 清掃業務	22
(2) 警備業務	22
(3) 防災関係業務	22
(4) 安全管理	22
5. 修繕工事に関する業務	24
V 施設貸出	25
(1) 業務概要	25
(2) 貸室料金等	25
(3) 貸出実績	25
VI 収支報告	26
1 収入	26
2 支出	26
VII 自主事業	27
1. 必須の自主事業	27
(1) ミュージアムショップ	27
(2) カフェ	27
2. 任意の自主事業	28
(1) キッチンカー出店	28
(2) その他	28
(3) 自主事業の収支	28
VIII 資料	29
1. 2019年度科学館入館観覧者状況	30
2. 2019年度イベント・講座実施状況	31
3. 利用者アンケート集計結果	39
4. メディア取材等一覧表	42

I 指定管理施設の概要

1. 施設概要

施設名称	浜松科学館（愛称 みらいーら）
施設住所	静岡県浜松市中区北寺島町 256 番地の 3
敷地面積	9,911.47 m ² （サイエンスパーク 3,020 m ² 、自然観察園 1,742 m ² ）
建築面積	3,373.95 m ²
延床面積	6,891.95 m ²
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建
竣工	昭和 61 年(1986 年)4 月
展示更新	令和元年(2019 年)7 月 1 日

2. 指定管理者事業

(1) 指定管理者

乃村工藝社・SBSプロモーション共同事業体

指定管理者1(代表企業)

所在地 東京都港区台場二丁目 3 番 4 号
 名称 株式会社乃村工藝社
 代表者 代表取締役社長 榎本 修次

指定管理者2(構成員)

所在地 静岡県静岡市駿河区森下町1番 35 号
 名称 株式会社 SBS プロモーション
 代表者 代表取締役社長 村田 潔春

(2) 指定管理期間

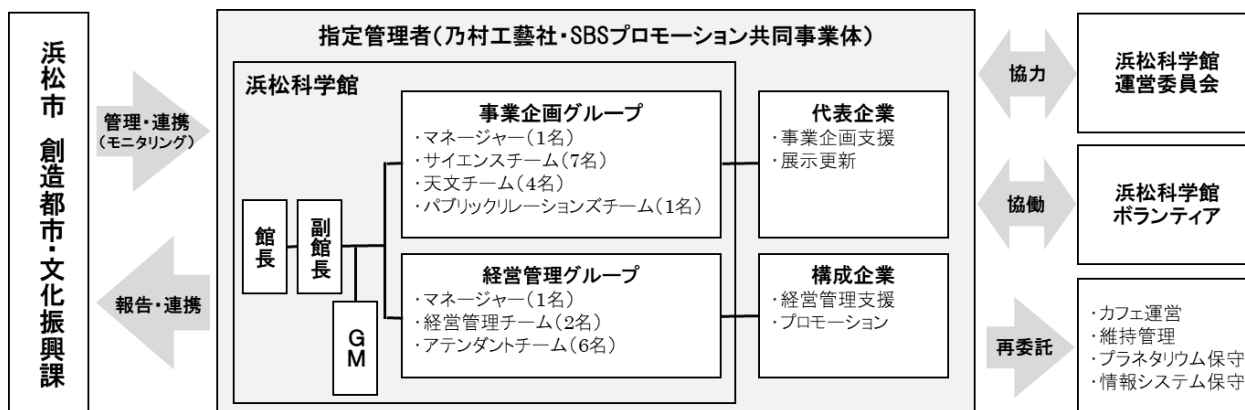
2019 年 7 月 1 日～2029 年 3 月 31 日

(3) 組織

名誉館長 天野 浩・名古屋大学教授

館長 小田木 基行

(以下、常勤職員 24 人)



(4) 浜松科学館運営委員会

科学館事業への助言および協力、評価等を目的に、学識経験者等で構成する浜松科学館運営委員会（委員長・上野征洋静岡文化芸術大学名誉教授）を組織しました。

名 称	日時及び場所	内 容
令和元年第1回 浜松科学館運営委員会	2019年11月14日(木) 10:00~12:00 浜松科学館セミナールーム	運営委員会の審議事項とテーマ別懇話会の設置 役員を選任 浜松科学館の運営状況 中期戦略計画と事業評価に向けた検討 等

委員名簿(順不同、敬称略)

氏 名	所 属	専 門 (役員)
上野 征洋	静岡文化芸術大学 名誉教授	メディア論 (委員長)
湯口 哲世	浜松商工会議所 理事(総務企画部長)	産業界 (副委員長)
遊橋 裕泰	静岡大学情報学部 教授(行動情報学科長)	ICT 研究
村井 良子	(有)プランニング・ラボ代表(ミュージアム・プランナー)	博物館経営
寺田 聖子	浜松市役所 市民部 文化振興担当部長	行政

(5) 共同事業体による運営支援体制

共同事業体構成員は、連帯して指定管理業務に責任を負うとともに、必要な経営資源(人材・業務インフラ・資金・情報)を供給します。また、各社の得意分野や専門性を活かして運営をバックアップします。また、共同事業体の代表企業が運営する科学館との人的交流や事業面の連携を図る環境をつくり、運営ノウハウの共有や、スタッフ個々人の専門能力の向上を図っています。

名 称	日 時	内 容
浜松科学館中長期計画 作成ワークショップ	2019年10月2日(水) 10:00~16:00	戦略計画の特徴・構造について学び、SWOT分析などを経て、スタッフ自らが使命・目標を明確にして科学館の中長期計画を作成しました。
乃村工芸社PPP事業部テ ーマ交流会	2019年11月17日(日) ~18日(月)	乃村工芸社が管理運営する全国のミュージアムからスタッフが一堂に会して、教育普及に関する各館の取り組みを発表しました。
浜松科学館展示評価ワー クショップ	2020年2月2日(日) 10:00~18:00	乃村工芸社の展示プランナー等の関係者と科学館スタッフが参加し、リニューアルした浜松科学館の展示アイテムをグループごとに検証し、課題の抽出、改善策の検討等の評価活動を実践的に行いました。

II 施設の利用状況

1. 年間実績（7月1日～3月31日）

- 開館日数 207日
 休館日数 35日
 内覧会等 5日（開館記念式典、内覧会、調整日）
 臨時休館日数 28日（令和元年台風19号による2019年10月12日及び新型コロナウイルス感染予防対策のため2020年3月3日～3月31日まで休館）
 開館時間 9:30～17:00
 ・夏季開館時間延長9:30～18:00(7月20日～9月1日)
 ・イベント等で適宜、開館時間を延長

2. 施設利用者状況

(1) 開館実績

(1) 開館日数	207日
(2) 休館日数	35日
(3) 臨時休館日数	28日

(3) 開館時間	9:30～17:00
夏季開館時間延長期間 9:30～18:00(7月20日～9月1日)	

(2) 利用者数実績

上段は人数。下段は構成比

利用者数総数		248,155人
常設展示入場者・プラネタリウム観覧者数	191,333人	77.1%
特別展入場者数	43,163人	17.4%
講座・イベント参加者数	12,462人	5.0%
施設貸出（ホール・セミナールーム）利用者数	1,197人	0.5%

(3) 入場者数実績

上段は人数。下段は構成比

常設展示入場者数：191,333人			
年齢別	大人	中人	小人
	92,418人	2,610人	96,305人
	48.3%	1.4%	50.3%
種別	個人		団体
	171,814人		19,519人
	89.8%		10.2%
学校等団体等利用状況：12,513人			
幼稚園・保育園	小学校	中学校	その他
71園	122校	15校	51団体
3,924人	6,488人	228人	1,873人
31.4%	51.9%	1.8%	15.0%

3. 利用者目標と達成状況

月	常設展入場者数（人）				プラネ・大型映像観覧者数（人）			
	目標	構成比	実績	達成率	目標	構成比	実績	達成率
7月	27,000	15.0%	32,969	122.1%	10,000	11.9%	13,531	135.3%
8月	50,000	27.8%	66,469	132.9%	22,000	26.2%	25,507	115.9%
9月	20,000	11.1%	23,470	117.4%	9,000	10.7%	10,712	119.0%
10月	13,000	7.2%	17,632	135.6%	8,000	9.5%	8,050	100.6%
11月	12,000	6.7%	14,578	121.5%	7,000	8.3%	6,797	97.1%
12月	11,000	6.1%	10,968	99.7%	5,000	6.0%	4,521	90.4%
1月	13,000	7.2%	13,443	103.4%	6,000	7.1%	5,998	100.0%
2月	14,000	7.8%	11,645	83.2%	7,000	8.3%	5,043	72.0%
3月	20,000	11.1%	159	0.8%	10,000	11.9%	56	0.6%
合計	180,000	100.0%	191,333	106.3%	84,000	100.0%	80,215	95.5%

○目標数値は、年度実施計画書又は提案書の事業収支計画表に基づく

4. 利用料金と収入状況

(1) 科学館利用料金

浜松科学館条例(昭和 61 年条例第 30 号)に基づき、利用料金を以下の通りに設定しています。利用料金制度(地方自治法第 244 条の 2 第 8 項・第 9 項)によって、利用料金は指定管理者の収入として収受し、管理運営業務経費等に充当されています。

区分		常設展入場料			常設展入場料+プラネタリウム1回分観覧料 (大型映像1回分観覧料)		
		大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)	大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)
通常料金		600 円	300 円	無料	1100 円	550 円	無料
団体 料金	浜松市 湖西市	420 円	210 円	無料	770 円	380 円	無料
	その他地域	540 円	270 円	無料	990 円	490 円	無料

※70 歳以上の方は入場料および観覧料が無料となります。

(2) 利用料金収入実績(科学館入場料、プラネタリウム観覧料)

区分		利用料金
個人	常設展	28,468,800円
	常設展+プラネタリウム・大型映像	28,560,650円
	観覧券	579,500円
	割引	-1,768,776円
	A 個人合計	55,840,174円
団体	常設展	341,220円
	常設展+プラネタリウム・大型映像	739,060円
	B 団体合計	1,080,280円
個人・団体合計 (A+B)		56,920,454円

(3) その他の利用料金

① 年間パスポート

科学への興味関心を深め、コアな利用者を育成するため、繰返し利用(リピート利用)を促す年間パスポートを発行しました。

年間パスポート料金	常設展示とプラネタリウム(プラネタリウムの観覧は1日1回まで)		
	大人	中人(高校生)	小人(中学生以下)
料金(税込)	2,700円	1,200円	

項目		利用者数	利用料金	科学館入場者数	1人当たり利用回数
購入者・利用者数	大人	1,408人	3,720,035円	5,094人	3.6回
	中人	8人	9,100円	44人	5.5回
	計	1,416人	3,729,135円	5,138人	3.6回

② 特別展

開催規模や内容に応じて設定します。2019年度の夏の特別展「感の迷宮～世界は錯覚でできている?!～」では大人、中人、小人ともに入場料を500円としました。

利用区分		利用状況	
		入場者数	利用料金
有料	大人	19,176人	9,588,000円
	中人	296人	148,000円
	小人	14,699人	7,349,500円
	計	34,171人	17,085,500円
無料	未就学	7,106人	0円
	手帳等	1,886人	0円
	計	8,992人	0円
合計		43,163人	17,085,500円



③ その他の料金

教室・講座・イベント等の催しの実施に際して、材料費や資料費等の実費相当額については、利用者から受益者負担分をいただきました。

区分	利用者数	金額
ミニワークショップ参加者数・料金	10,906人	1,505,200円
みらいーらカード発行数・料金	1,591人	528,100円
貸出端末利用者・料金	57人	11,400円
合計	12,554人	2,044,700円

Ⅲ 科学館事業

1. 展示運営

展示リニューアルによって生まれ変わった展示アイテム 90 点と屋外展示、自然観察園が常時良好な状態で利用できるよう管理するとともに、サービス価値を高めるためのさまざまな体験プログラム、関連テキスト、学習ツールを用意して多角的な展示運営事業を展開しました。

フロア	点数	ゾーニング	アイテム			
1階	12点	自然ゾーン	浜松のすがた アクティブ・リサーチ・デスク デジタルスコープで見る 顕微鏡で見る でんけんラボ	いきもの色覚 センサーでとらえる世界 はままつ環境ウォール リアルタイム地震 アースモニター	コレクションウォール バイオミメティクス	
2階	21点	光ゾーン	アクティブ・ライト・シューティング 光のテーブル いろいろな鏡 カラーミキサー 瞳のかんさつ	光ファイバーのしくみ 光通信のしくみ 光ではかる 光を利用する 光で動きをとらえる	目のしくみ 立体に見えるワケ 色当てチャレンジ ゾートロープ 視覚のふしぎ	かげ絵あそび 光の波長と技術 ようこそ LEDの世界へ イ号テレビ 高柳 健次郎 堀内 平八郎
2階	22点	音ゾーン	アクティブ・サウンド・ライブ 弦の動き おんさじっけん ボイスチェンジパイプ ドップラーテーブル 耳のしくみ	発声のしくみ どこまで聞こえる？ どう聞こえる？ 効果音をつくろう おでこで聞こう 音でしらべる	音を利用する エコチューブ 音のしぶき 音のかたち 響きの変わる部屋	ピアノアクション 電子楽器の世界 山葉 寅楠 河合 小市 梯 郁太郎
2階	20点	カゾーン	アクティブ・パワー・コースター ビジュアルビリヤード バスカルのイス 縦波と横波 砂鉄でお絵かき	水のテーブル 振り子の動き いろいろ発電 電磁誘導テーブル 風のテーブル	メカニカルウォール メカニカルブロック クルマの基本と応用 バイクの基本 EVサーキット	船を動かそう パワーアシストつなひき 鈴木 道雄 本田 宗一郎 川上 源一
2階 3階	10点	宇宙ゾーン	アクティブ・スペース・ミッション 星座を見つけよう スイングパイ ロケットを飛ばそう カミオカンデVR	スペースホットトピック (3F) 月面AR (3F) 笹ヶ瀬隕石 (3F) H2Aロケット (模型・3F) 光学式プラネタリウム (3F)		
2階	3点	新技術コーナー	ローム浜松株式会社 原田精機株式会社 静岡大学工学部			
2階	2点	やらまいか テクノロジー コーナー	①ホロライト (バイフォニクス株式会社) 展示期間 2019年7月～12月 ②ねじブロック (橋本螺子株式会社) 展示期間 2020年1月～			
合計	90点					

屋内施設、屋外施設・展示については、常時、開放されている空間であるため、特に安全で快適な状況を保つよう努めるとともに、さまざまな事業を展開する場として活用されています。

区分	数量	ゾーニング	ファシリティ・アイテム			
屋内	5箇所	屋内施設	2階 キッズ・サイエンス・ランド	中2階 みらいーらステージ みらいーらテーブル	1階 ものづくりラボ サイエンスラボ	
屋外	8箇所	屋外設備・展示	サイエンスパーク パワーアスレチックハウス サウンドコレクトチェア マテリアルベンチ	芝生広場 バラボラ サイエンス農園 ニュートンのリンゴの木 醍醐寺のクローン桜	デッキ 霧のステージ	自然観察園

2. 特別展・企画展

特別展や企画展の開催により、集客力を高めます。市民が科学に親しみきっかけをつくとともに、浜松の魅力を広く発信することに努めます。夏季学校休業期間にあわせて訴求力の高い特別企画を用意し、集客と同時にリニューアル周知を図りました。

名称	開催時期	実施内容																					
夏の特別展 「感覚の迷宮～世界は錯覚でできている～?!」	2019年 7月20日(土) ～9月1日(日) 44日間	錯覚の世界を、「みる」、「きく」、「さわる」、「かぐ」、「あじわう」で体験し、錯覚を手掛かりに感覚と脳の関係を具体的に学ぶことを狙いとしました。 ◎入場者数 43,163人																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大人</td> <td>19,176人</td> <td>44.4%</td> </tr> <tr> <td>中人</td> <td>296人</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>小人</td> <td>14,699人</td> <td>34.0%</td> </tr> <tr> <td>未就学</td> <td>7,106人</td> <td>16.5%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,886人</td> <td>4.4%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>43,163人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	人数	構成比	大人	19,176人	44.4%	中人	296人	0.7%	小人	14,699人	34.0%	未就学	7,106人	16.5%	その他	1,886人	4.4%	計	43,163人	—
区分	人数	構成比																					
大人	19,176人	44.4%																					
中人	296人	0.7%																					
小人	14,699人	34.0%																					
未就学	7,106人	16.5%																					
その他	1,886人	4.4%																					
計	43,163人	—																					

3. 展示体験プログラム・支援ツール

(1) 展示ストーリーブック

自然・力・音・光・宇宙という5つのテーマに分かれた常設展示を通して、浜松独自の自然・地史の成り立ちと、そこで展開してきた活発な起業、製品開発、生産活動に関わる幅広い科学分野の開発・研究が育まれてきた背景をストーリー仕立てで編集しました。



(2) 学習活用ワークシート

児童生徒を対象とした展示による学習活用ワークシートを作成し、展示アイテムを利用した子供たちの主体的な学び、深い学びを促進します。小学校の単元別に作成し、来館前の学校団体や家族連れが、科学館のウェブサイトからダウンロードできます。内容:3年生「磁石の性質」・「光の性質」、4年生「月と星」、5年生「電流の働き」・「振り子の運動」、6年生「電気の利用」・「土地のつくりと変化」

(3) 科学学習情報システムの運用

館内での体験の質を高めるとともに、各個人の体験の記録を残すことで発展的な学びにつなげます。ポイントを貯める機能や、チャットボット機能を運用し、アプリあるいはICカード(みらいーらカード)を用いた体験価値の向上を図りました。獲得したポイント数に応じて、オリジナルグッズや特別体験などの特典を提供しました。

4. 参加型学習

利用者サービスの主軸が「体験」に移行している中、展示の価値をより一層高めて、利用者が展示テーマに触発されて興味関心をさらに喚起されるよう、さまざまな体験プログラムを実施しました。いずれも他の類似施設で行われているものより大規模な仕掛けで参加機会も多く、利用者の満足度や科学への関心を呼び起こす浜松科学館ならではの人気プログラムとなっています。

名称	実績	内容
科学学習情報システム	アプリ登録数 2,200人 カード登録数 2,001人 (合計) 4,201人	カード発行機によるカードとスマートフォンアプリを使って、展示に関連した科学的な事象等のより発展的な情報を得る主体的な学びのツールとしました。さらに、展示室の5か所に設置した情報端末(ベースステーション)でクイズにチャレンジして科学への興味を喚起しました。
アクティブ展示解説	平日2回 ・休日4回実施 599回 参加者数 8,207人	「自然」「音」「光」「宇宙」の各ゾーンの展示アイテムを活用して、利用者とスタッフがコミュニケーションをとることができる展示解説を行いました。平日に2回、休日には4回ずつを目安に、タイムリーなノーベル賞の話題を織り交ぜるなどして、利用状況に合わせて臨機応変に実施しています。
サイエンスショー	実施回数 (1日3回実施) 656回 参加者数 35,212人 (1回平均54人参加)	みらいーらステージで大規模に行っているサイエンスショーは、科学館のメインコンテンツとして利用者の人気プログラムに定着しました。演者と参加者がショーを介して交流する中で、予測したり考えたりするプロセスを重視したプログラムとし、さまざまな演目を1日に3回実施しています。
ミニワークショップ	1日1回実施 208回 参加者数 9,670人 (同保護者数含む) 19,696人	みらいーらテーブルでスタッフと利用者がコミュニケーションを取りながら、観察、実験、工作等のプログラムを実施しています。体験時間30分未満で、より多くの来館者が順次、気軽に参加できるようにしています。ボランティアも加わり、毎日1種1回ずつ開催し、テーマを頻繁に変えることで、リピーターも多く参加できるようにしています。
サイエンスラボ ものづくりラボ	開催回数 42回 参加・受講者数 2,721人	手を動かして考えることを重視し、自然観察や電子顕微鏡、化学実験、電気工作などのプログラムを展開しています。スタッフが用意した手作りキットを活用したり、企業、研究機関と連携したバラエティーに富んだ内容で、易しい内容から高度な学習までさまざまなジャンルの学びと交流の場を提供しました。

5. プラネタリウム

リニューアルしたプラネタリウムで「生解説プラネタリウム(一般対象)」、「キッズプラネタリウム(幼児対象)」、「大型映像(一般対象)」「事前予約団体向け(学校団体対象)」「特別放映(大人限定)」の放映を行いました。

(1) 放映スケジュール

回	平日	土曜・日曜・長期休暇期間
1	10:00～10:45 事前予約団体	10:30～11:10 キッズプラネタリウム(※1)
2	11:30～12:15 事前予約団体	11:45～12:35 大型映像
3	13:00～13:45 事前予約団体(※2)	13:15～14:10 生解説プラネタリウム(※1)
4	14:30～15:20 大型映像	14:30～15:20 大型映像
5	16:00～16:55 生解説プラネタリウム	16:00～16:55 生解説プラネタリウム
6	—————	18:00～18:55 特別放映 ※毎週土曜日

※1 事業計画では土曜・日曜・長期休暇期間の1回目キッズプラネタリウムの開始時間を10:20としていましたが、来館者が利用しやすいように10:30に変更しました。また、土曜・日曜・長期休暇期間の3回目生解説プラネタリウムの開始時間を来館者が利用しやすいように13:00から13:15に変更しました。

※2 2019年9月から水曜日の第3回を生解説プラネタリウムとし、個人利用者の観覧機会を増やしました。

(2) 放映番組

① 生解説プラネタリウム

当日の星空解説とテーマ解説をスタッフがすべて生解説することによって、一方的ではなく双方向な放映を実施するとともに最新の宇宙天文ニュースを提供しました。テーマ解説部分では、企画、シナリオ、作画、動画制作、編集、スクリプト制作などすべての工程をスタッフがを行い、完全内製化を実現しました。

【テーマ】



放映期間	テーマ内容	回数	観覧者数
2019年7月1日 ～9月29日	「宇宙へGO! ミッション01 宇宙の色を調査せよ!」 「宇宙の色」をテーマとし、デジタルプラネタリウムの機能を利用して宇宙旅行しながら「宇宙の色」を探る。	142回	23,044人
2019年10月3日 ～2020年1月7日	「ブラックホールの謎に迫る」 ブラックホールをテーマとし、ブラックホールシャドウなど、これまでの研究をもとにブラックホールの謎に迫る。	130回	6,124人
2020年1月9日 ～3月31日 (3月3日～3月31日は臨時休館)	「地球外生命を探せ! ～ケイガイ惑星ってどんな星?～」 太陽系以外の惑星である「系外惑星」。その中に、地球に似た星の存在や地球以外にも生物がいる可能性に迫る。	70回	2,913人
合計		342回	32,081人



② 大型映像

プラネタリウムドームを有効活用し、科学分野の大型映像を上映することで科学への興味・関心を高めました。

【上映コンテンツ】


上映期間	コンテンツ内容	回数	観覧者数
2019年7月1日 ～2020年3月1日	「新・恐竜大進撃」 最新研究から判明したティラノサウルスの圧倒的な強さの秘密や日本の恐竜史上最大級の丹波竜などを超高精細CGで再現して紹介。 	194回	22,696人
2019年10月3日 ～2020年3月31日 (3月3日～3月31日は臨時休館)	「星の旅 -世界編- 特別ロングバージョン」 世界の星空、南半球の星座、ウユニ塩湖など世界各国の絶景の実写映像と天の川の秘密などをCGでわかりやすく紹介。東京以外では「初公開」となる特別ロングバージョンを上映。 	127回	5,917人
合計		321回	28,613人

③ キッズプラネタリウム

小学校低学年以下の児童が、家族と楽しめる星空生解説番組を通常より短い30分間で実施しました。投映当日の夜に、浜松で見られる星空案内と来場日の誕生日星座を生解説で投映することで、毎月内容が変わり、いつ来館しても新しい発見があるようにしました。



テーマ(星座)	投映期間	テーマ(星座)	投映期間
かに座	7月1日～7月23日	いて座	11月23日～12月22日
しし座	7月24日～8月23日	やぎ座	12月23日～1月20日
おとめ座	8月24日～9月23日	みずがめ座	1月21日～2月19日
てんびん座	9月24日～10月23日	うお座	2月20日～3月20日※
さそり座	10月24日～11月22日	おひつじ座	3月21日～3月31日※

※(3月3日～3月31日は臨時休館)

投映期間	投映内容	回数	観覧者数
2019年7月1日 ～2020年3月31日 (3月3日～3月31日は臨時休館)	「こんやのおほしさまとおたんじょうびのせいざ」 今夜、浜松で見られる星空案内および来場日の誕生日星座や神話などを紹介。 	115回	11,695人

④ 事前予約団体を対象とした投映


小学校向けに、理科の授業カリキュラムに合わせた学習投映を行いました。また、幼稚園・保育園向けにキッズプラネタリウムと同内容のやさしい星空生解説番組を投映しました。

投映期間	投映内容	回数	観覧者数
2019年9月1日 ～2020年3月31日 (3月3日～3月31日は臨時休館)	小学4年生向け学習投映「星の動きと月の動き」 星と月は時間とともに東から南を通り西へと動くこと、月は毎日見える形が変わることを紹介。 	41回	4,160人
2019年9月1日 ～2020年3月31日 (3月3日～3月31日は臨時休館)	幼稚園・保育園向け星空生解説番組 「こんやのおほしさまと おたんじょうびのせいざ」 投映当日の夜、浜松で見られる星空案内および来場日の誕生日星座や神話などを紹介。 	73回	3,371人
2019年7月1日 ～2020年3月1日	その他団体向け投映 内容は団体の希望に合わせて、誕生日の星空などを投映。	11回	678人
合計		125回	8,209人

(3) プラネタリウムの利用促進


① プラネタリウムドームを活用したイベント等の開催(特別投映)

客層を広げるため、毎週土曜日の閉館後 18:00 から大人限定の特別投映を行いました。

投映期間	投映内容	回数	観覧者数
2019年11月7日 ～2020年3月27日 (3月3日～3月31日は臨時休館)	大人限定特別投映「よるぞら」 今夜、浜松で見られる星空案内(生解説)および大型映像「星の旅～世界編～」を組み合わせ投映。 	17回	411人

② プラネタリウムドームを活用したコンサート等の開催

ドームを有効活用するため、閉館後に声優による朗読劇を実施しました。

開催日	開催内容	回数	観覧者数
2019年11月23日 ～11月24日	「ほし×こえ」 声優の小野友樹氏と大原さやか氏による「こいぬ座の一等星プロキオン」をテーマとした朗読劇。 	4回	461人

6. ミュージアム アテンダント

① 業務の概要

利用者に対し適切な案内を行い、顧客起点の接客や確実な発券業務により、利用者満足度を高めるよう努めました。また、業務マニュアルに基づく研修を行い、スタッフ各人が高いサービス水準の維持、向上を図っています。また、学校団体等の予約受付に際しては、利用者からの電話対応や下見の相談などワン・ストップ・サービスで利便性の高いスピーディーな対応を行いました。

② 業務実績

◎1 階インフォメーションにおける受付・案内業務

業 務	内 容
来館者の誘導、案内、受付業務	来館者の誘導や案内を、丁寧かつ的確に行うことができるよう努めました。また、団体の受付、誘導、案内、下見対応に際しては、できるだけ利用時の不明点を解消することができるよう対応しました。 2019年度は、リニューアル後のため、施設及び施設の利用方法、当日のプログラム、スケジュールの案内等の問合せも多く、来館者にとって分かりやすい説明を常時検討し、最適なサービスを目指しました。
発券業務	常設展示、プラタリウム等の利用料金の徴収(減免手続や領収書発行等含む)やチケットの発行、プラネタリウムの残席数の管理、各種割引券への対応、駐車場チケット等の配布等を行いました。1日の来館者が3,000人を超えた場合のスピーディーな発券対応等の検討をしていきます。
科学学習情報システム端末貸出業務	科学学習情報システムの貸出端末利用者への対応、貸出料金の徴収、使用方法の説明を行いました。
情報提供業務	周辺及び市内の文化施設や関係機関に関する情報提供等を行いました。特に、利用者からは、駅へのアクセスや周辺飲食店についての質問が多く、紙媒体を活用して積極的な対応をしました。
その他業務	来館者により楽しんで利用していただくため、季節の飾りつけ(1階インフォメーションカウンター周り、セミナールーム、各階トイレ)を行いました。 2019年度はラグビーワールドカップの開催もあり、特に外国人の来館も多く、多言語に対応できるよう館内のサインを作成、掲示をしました。



◎プラネタリウムにおける誘導・案内業務

科学館3階のプラネタリウムドーム内で、観覧者の誘導、案内を行いました。

業 務	内 容
チケット確認	観覧券の確認および観覧者数のカウントを行いました。
誘導案内	座席への誘導および出口への誘導を実施しました。また、観覧者へドーム利用上の注意点等の説明を適宜実施しました。
安全管理	非常時の避難誘導を含めた、場内の安全管理に取り組みました。また、避難誘導訓練を行い、観覧者の安全確保に努めています。

7. 連携協力事業

(1) 教育団体等との連携

科学館の特徴を活かした効果的な学習を、市教育研究会理科研究部や学校の先生方と連携して取り組み、学校等の教育団体が利用しやすい環境の確保に努めました。(参照:Ⅶ 資料2「2019年度イベント実施状況」)

① 教育団体の学習利用の推進

- 展示室の見学とプラネタリウムの学習投映を基本とした教育団体向けのプログラムを設けて、学年や学校側の諸条件に合わせて選択できるようにしています。
- プラネタリウムの学習投映を、教育団体の利用の多い平日の午前中を中心とした時間帯に実施しました。
- アクティブ展示解説や、サイエンスショー、人工知能の機械学習体験など、科学館の展示や学習メニューを活用した教育団体向けのプログラムを用意しました。
- 『浜松科学館 学習利用ガイドブック』(A4判 19頁)を700部作成し、市内全幼稚園・小学校に送付するとともに、科学館の公式 Web サイトに学校団体専用のページを設けて、予約の受付、ガイドブックや申込書のダウンロードができるようにしました。



- 科学館を利用した学習に対する理解促進のため、リニューアル・オープン前に校長会(4月9日)、市教育研究会理科研究部・理科主任者会議(4月17日)に出向き、説明を行いました。
教育団体利用状況(2019年度)

区分		校数	人数
小中学校	浜松市	89校	4,044人
	県内他市	68校	3,484人
	県外	9校	315人
特別支援学校	県立	11校	159人
	県外	1校	16人
高等学校	県内	3校	146人
幼・保育園	浜松市	74園	3,856人
	県内他市	12園	808人
その他団体(福祉施設等)		54団体	1,930人
合計		321団体	14,758人

② 学習利用にあたっての教員との連携・協力

- 教員・引率者の相談や事前調査(下見)に対応し、学習効果の高い授業の実施を支援しました。
- 児童・生徒が展示を活用して主体的に学ぶことを支援するワークシートを用意し、公開しています。
- リバージオモデル、浜松(天竜川)の岩石学習キット、浜松の昆虫標本等の教材を貸し出しました。

③ 出張科学館の実施

科学館の利用が困難な地域を中心に、「GO! GO! サイエンス事業」として出張サイエンスショーを行い、17校 1,165人が参加しました。

④ 作品展、表彰式に関する業務

小・中学校の児童・生徒の理科研究作品等について、関係団体との連携・協力により、作品展、表彰式を開催しました。

- 浜松市小・中学生理科研究作品展(浜松市教育研究会理科研究部と共催)
- 浜松市小・中学生発明くふう展・表彰式(浜松経済クラブ、社団法人発明協会静岡県支部と連携)
- 「静岡県学生児童発明くふう展」及び「全日本学生児童発明くふう展」への推薦
- 櫻場賞授与式・理科研究発表会(理科自由研究の応募作品の中から優秀作品を顕彰・研究発表)

⑤ 児童・生徒等に対する相談の実施

小・中学校の児童・生徒をはじめとする市民の科学や理科に関する相談に対し、助言等を行いました。

- 理科自由研究、発明くふう作品の相談(夏休み期間中の自由研究、発明くふう作品の制作支援)
- 科学・理科に係る教育人材のネットワークによる相談等への対応
- 浜松市教育研究会理科教育研究部等との連携による理科教員OBの参加・協力体制の構築
- 次世代育成に取り組む大学や企業、団体との連携(浜松 RAIN 房 等)
- 科学教育に関わる専門家との連携(プログラミング、デジタルファブリケーション、電子工作 等)

⑥ 学校・公的機関の研修、実習等への対応

学校や教育委員会等の教育関係機関等の公的機関が行う研修、実習等を積極的に受け入れています。また、地元の企業や団体の研修にも積極的に協力しました。

- 教職員を対象とした社会教育施設研修(市内小・中学校の依頼による)
- 中学生の職場体験
- 大学の博物館・社会教育施設実習
- 大学の地域連携活動支援(講義・ゼミの支援、学生インターンの受入等)
- 企業関係団体の会合・イベントでの出張サイエンスショー

⑦ 幼稚園・保育園の利用への対応

幼稚園・保育園に対し、幼児向けの投映等を実施しました。(5 プラネタリウム事業参照)

(2) 教育関係機関等との連携

各プログラムの開催日及び詳細は「Ⅶ 資料 1. 浜松科学館イベント実施状況」を参照。

- ① 科学の祭典「おや!なぜ?横丁2019」
- ② グリーンサイエンスカフェ in 浜松(静岡大学グリーン科学技術研究所主催)
- ③ トップガン教育システム協議会、浜松 IT キッズプロジェクト推進会議との連携(「子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業」)

④ 市内の文化施設等との連携

- 浜松天文台との連携による「ゆめいっぱい小学生宇宙絵画展」表彰式・展示会
- 浜松市楽器博物館との連携による、楽器工作(手作りギター、親指ピアノ)の講座・イベント

⑤ 企業や大学、研究機関との連携

- 浜松サイエンスアドベンチャーによる企業等訪問
- 「やらまいかテクノロジーコーナー」の設置と地元企業の技術の発信(パイフオトニクス、橋本螺子)

(3) その他(研究機関や科学館との連携事業等)

① 研究機関等との連携

科学に関連した研究機関との連携による講座等を開催し、来館者が科学・技術に関する最新の知見に触れる機会を創出しました。

② 全国の科学館との連携・協力

- 日本博物館協会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会等に加盟し、会合に参加しました。
 - 9月4日～5日 ICOM 京都大会及び日本博物館協会総会に参加
 - 10月17日～18日 全国科学館連携協議会国内研修に参加 (※事例発表を含む)
 - 11月18日～20日 日本ジャイアントスクリーン協会フィルムフェスティバルに参加
 - 1月17日～18日 全国科学館連携協議会東海ブロック研修会の開催(会場:浜松科学館)
 - 2月13日～14日 全国科学博物館協議会総会に参加 (※事例発表を含む)
 - 2月16日～17日 日立サイエンスショーフェスティバルに参加 (※講師派遣を含む)
- 特別展等の企画連携(代表企業運営の科学館:多摩六都科学館等)
- 他の科学館、博物館との連携・共催事業(静岡県立森林公園バードピア浜北、山梨県北杜市オオムラサキセンターとの交流事業)

③ 他機関や他のイベントとの連携による賑わい創出

- 自主事業によるサイエンスパークの活用(キッチンカーの誘致)
- 京都醍醐寺のクローン桜植樹お披露目式(2020年1月23日)
京都醍醐寺・三宝院大玄関前にあるシダレザクラ「太閤しだれ桜」のクローンを秀吉公に縁のある浜松市の浜松さくらライオンズクラブが受け取り、浜松科学館へ寄付していただきました。



④ 市中心部のイベントとの連携

- 「浜松まちなかにぎわい協議会」への参加・協力
- JR東海主催「さわやかウォーキング」(2019年11月10日実施)
- 静岡新聞SBS等による「キラキラ探検隊」(2019年7月20日～9月29日)
- 「山フェス」ステージ出演 (2019年10月19日 会場:浜松城公園)
- 「サーラ大感謝祭」出張・ミニワークショップ (2019年11月2日 会場:サーラプラザ浜松)

⑤ 近隣駐車場の提携利用

- 提携駐車場(イタクパーキング)利用者に一定額(150円)の割引チケットを提供(常設展・プラネタリウム観覧者対象)。

8. ボランティア活動支援

科学館活動のパートナーとして市民ボランティアと連携し、科学を楽しむ地域文化の創造を目指しています。

① 募集・面談・登録・研修

2019年5月1日～27日に募集を行い、6月20日までに面談を行いました。6月29日の総会・研修会を経て、7月1日から一般ボランティア(成人)17人と、ジュニアボランティア(中学生・高校生)22人が登録して自主的に活動しました。

② ボランティア活動の場

- 来館者とのコミュニケーションや展示解説、ワークショップの運営をスタッフと共に実施
- ボランティアと来館者との交流を拡大する機会として、「おや！なぜ？横丁2019」への出展を支援

③ 活動実績

- 年間で延べ 205 回(205 日)、延べ 130 人の参加
- 「おや！なぜ？横丁 2019」(12 月 14 日、15 日)に出展(工作ワークショップ)

区分	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数(回)	69	66	14	20	12	9	6	9	0	205回
一般	42	33	10	11	7	4	4	7	0	118回
ジュニア	27	33	4	9	5	5	2	2	0	87回
参加人数(人)	31	20	11	12	20	19	10	7	0	130人
一般	16	11	6	7	13	9	8	6	0	76人
ジュニア	15	9	5	5	7	10	2	1	0	54人

② 活動評価(ボランティア活動満足度調査:回答者 21 人)

- 活動に対する満足度:「満足」11人、「やや満足」5人、「どちらともいえない」4人、「不満」1人
 ※満足でない理由は、イベント等の手伝いで、やることが少ないと感じたとの回答が多かったです。
- 令和2年度更新希望者は一般7人、ジュニア12人。今後の活動への希望や改善点を参考にし、充実したボランティア活動を支援していきます。

9. 調査・研究および収集・保存

年間を通じて浜松科学館自然観察園の生物の分布調査を行いました。その結果を「自然観察園生き物マップ」として出口ゲート近くに掲示し、多くの来館者に観覧いただき好評をいただきました。

また、臨時休館中のコンテンツとして、浜松科学館付近で観察できる草花まとめたミニガイドブックを作成しました。ウェブサイトからダウンロードすることができます。

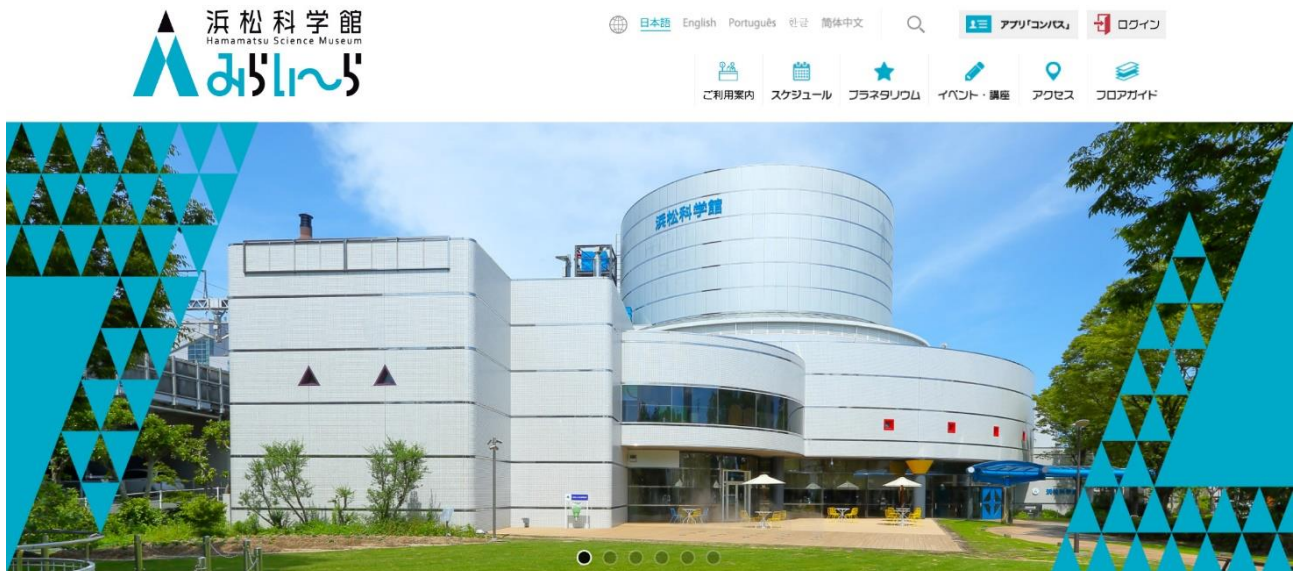


事項	内容
ポスター、チラシ	科学館の催し等の集客を目的とし、ポスターおよびフライヤーを発行しました。 ・ポスター3種 計 524 枚 ・フライヤー7種 計 17,520 枚



◆ ウェブ媒体

事項	内容
公式ウェブサイト	利用者の来館意欲を高めるわかりやすい情報発信を行うために、コンテンツの魅力を高めるためのグラフィカルな訴求や、情報の鮮度を保つための定期的な更新を心掛けました。サイトへのアクセス動向は以下の通りです。 ・ユーザー数 189,314 ・セッション数 325,657 ※セッション:ウェブサイトへの訪問のこと ・平均ページセッション数 4.41 ・平均セッション時間 3:06 (※7月1日~3月31日の集計) <参考> 4月1日~6月30日の開業準備期間中のユーザー数は 17,373
公式 SNS アカウント	Twitter、Facebook、Instagram、YouTube の公式アカウントを通じて、催しの様子などを発信し、科学館への愛着醸成を図りました。 また、臨時休館期間中には特別企画として動画配信を行い、ウェブを通じて科学館事業を展開しました。



◆ バブリシティ(※詳細は巻末の資料参照)

項目	件数	内訳
テレビ・ラジオ	46件	テレビ:23件、ラジオ 23件
新聞・雑誌	82件	新聞:54件、雑誌 28件
ウェブ	32件	TV系:5件、新聞系:16件、その他:11件

◆ 広告

広告	7件	新聞:7件(※ただし夏の特展名義共催の広告を除く)
----	----	---------------------------



◆ 交流会への参加

やらまいか交流会	11月11日	約500人との交流
----------	--------	-----------

11. 視察・調査

リニューアルオープン後、県内外の行政視察や科学館関係者、学校関係者等の視察・調査の対応をしました。

区分	団体名・名称	総人数
行政・議会	浜松市議会、小平市議会、川口市議会、静岡県幹部職員(政策推進担当部長、経営管理部長、経済産業部長、文化・観光部長他)、宝塚市・名古屋市・金沢市・北九州市職員、創造都市ネットワーク会議	106人
科学館等	愛媛県総合科学博物館、ディスカバリーパーク焼津天文科学館、日立シビックセンター科学館、伊勢志摩国立公園・横山ビジターセンター、千葉市科学館、神戸市立青少年科学館	25人
学校(総合学習、理科教員視察等)	信州大学天文倶楽部、社会情報大学院大学、浜松市立高校放送部、静岡大学附属浜松中学校、浜松市立富塚中学校、常葉大学附属菊川中・高等学校、浜松市立曳馬中学校	61人
その他	浜松ロータリークラブ、ノムラ協力会本部理事会	68人

IV 維持管理業務

1. 科学館の維持保全業務

① 施設維持管理業務

来館者に満足してもらうための快適かつ機能的な環境を継続的に提供することを目的に、予防保全を基本とし、中長期的な視点からライフサイクルコストの低減に努めました。公共施設、社会教育施設としての施設特性を踏まえ、その目的の達成を施設維持管理面で支えるため、次の基本的な考え方に基づいて業務を行います。

② 業務実績

分類	項目	仕様	2019年												2020年			備考
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
設備運転管理業務	日常設備管理、残留塩素測定				-	1~31	1~31	1~30	1~31	1~30	1~29	3~31	1~29	1~31	※6月試運転業務			
1.建物管理業務	特殊建築物定期調査	建築物調査						2、3							2年1回			
	建築設備定期点検	換気設備検査						2、3										
		非常用照明装置検査						2、3										
		防火設備点検			24,25			2、3							消防点検時実施 ※本年度6月実施			
2.設備点検業務	昇降機点検			28	31	1	24	31	30	23	31	遠隔	16	◎現場、○遠隔				
	自動ドア保守点検			25	8			11			7			年4回				
	吸収式冷凍保守点検			13,14		5			18~20			4		年4回				
	空調設備	パッケージエアコン			13,14					18~20					年2回			
		空調機			13,14					18~20					年2回			
		ファンコイルユニット			13,14					18~20					年2回			
		全熱交換器			13,14					18~20					年2回			
		ポンプ			13,14					18~20					年2回			
		送排風機			13,14					18~20					年2回			
		その他の点検(フロン)			13,14		5			18~20			4		フロン漏洩年4回			
		フィルター清掃			13,14					18~20					フィルター清掃年2回			
		空調自動制御機器点検			13,14					18~20					年2回			
	消防設備点検	機器点検			24,25										年1回 ※本年度6月実施			
		総合点検											18、20		年1回			
防火対象物点検								30						防災訓練 6/29、2/20実施				
自家用電気工作物保守	保守点検			10	5	5	2	7	7	3	8	17	9					
	年次検査											17						
	電力デマンド監視			10	5	5	2	7	7	3	8	17	9					
非常用発電機保守点検											18		消防点検時実施					
監視カメラシステム保守点検									14									
3.環境衛生管理業務	受水槽他清掃			19,20	8 雑排							28 雑排		雑排年2回				
	簡易専用水道検査			19,20														
	害虫駆除・鼠防除管理	建物全域			26	25	29	26	30	27	20	29	26	25				
		飲食スペース			26	25	29	26	30	27	20	29	26	25				
	水質検査	水質検査全項目			20						4							
		略式項目			20										※次年度6月施工			
	ばい煙濃度測定				2						7			年2回				
	レジオネラ菌検査			19		5								年2回 ※次年度6.8月施工				
	建築物環境衛生管理技術者選任			-	1~31	1~31	1~30	1~31	1~30	1~29	3~31	1~29	1~31	※6月試運転業務				
	空気環境測定			29		26		11			11		14	2ヶ月1回				
ホルムアルデヒド測定							2											

【凡例】 各月内の数字は実施日を表す。

③ 屋外緑地管理業務

サイエンスパーク、自然観察園、サイエンス農園等の緑地管理を行い、樹木の剪定・伐採、雑草除去、ニュートンのリンゴの木・うなぎ芋等の生育を図って、周辺環境の向上、美観の保持、及び事業活用に供しています。

2. 特殊機材・展示品等保守管理業務

①プラネタリウム機器の保守管理業務

プラネタリウム機器を常に正常な状態に保ち、最適な環境の下で安定的に投映を行うことができるようにするために、日常点検を行うとともに、故障やトラブルを未然に防ぐための定期保守点検を行いました。また、不具合が生じた場合は、速やかに復旧させるために、補修や部品交換等の適切な処置を迅速に行っています。

内 容		実施日
1	作動点検 (光学式プラネタリウム、デジタルプラネタリウム、プロジェクター 等)	2019年6月28日
2	総合点検 (光学式プラネタリウム、デジタルプラネタリウム、プロジェクター 等)	2019年9月30日 ～10月1日
3	プロジェクターランプ交換 当初、年間1回(6月)交換のみとしていたが、ランプ破裂などの不具合が頻発したため、予防保全を兼ねて全台2度目の交換を実施した。	2019年6月28日(6台分) 2019年12月13日(Fプロジェクター) 2019年12月19日(Aプロジェクター) 2020年1月24日(Cプロジェクター) 2020年1月28日(Bプロジェクター) 2020年2月9日(D、Eプロジェクター)

②展示アイテム・ホール設備の保守管理業務

内 容		実施日
1	展示映像機器点検作業 (映像・音響装置、プロジェクター、PC、タブレット端末等調整・動作点検)	適時
2	展示装置・造形物点検作業 (調整・動作点検、目視点検)	適時
3	屋外遊具点検作業 (調整・動作点検)	適時
4	ホール舞台照明・吊物設備保守点検 ホール舞台音響設備保守点検	2019年12月24日 2020年1月15日

3. 什器・備品等保守管理業務

浜松市物品管理規則(昭和40年規則第18号)に基づき、備品台帳を整備し保守・修繕等を、随時行い適切に管理しています。指定管理が必要に応じて購入した備品等(Ⅱ種)はコインロッカー1点です。

No.	新規購入備品	場 所	購入金額(税込)	備 考(要因等)
1	コインロッカー (硬貨返却型。大12・小18マス)	1階ホール前	494,725円	老朽化・鍵紛失による使用不能ロッカーの増加と大型ロッカーへの要望

4. 清掃・警備・防災関係業務

(1) 清掃業務

- ① 日常清掃 日単位の短い周期で日常的に行う清掃業務
- ② 定期清掃 月単位の長い周期で定期的に行う清掃業務
- ③ 巡回清掃 1日1回の日常清掃と共に行う補完的な清掃業務
- ④ 補給作業 資機材や衛生消耗品の不足を確認し、常に補給を行う作業

(2) 警備業務

- ① 繁忙期警備誘導業務(7月20日～9月1日)
集客期における安全管理、円滑な入退場及び前面道路の交通渋滞防止を図るため、主要な出入口付近に警備員を配置しました。
- ② イベント実施時の車両誘導業務
「おや！なぜ？横丁2019」(12月14日、15日)実施時に、多人数となる出展者の駐車車両の誘導を行いました。

(3) 防災関係業務

災害に備えて防災対策を図るとともに、本施設が被災した場合には、直ちに補修等の措置を講じ、施設の機能維持に努めています。

項目	実施時期	備考
建築設備点検	9月1日～4日	建築基準法第12条に係る建築・設備の法定検査 (浜松市所管課への報告)
防火対象物点検	9月	消防法第8条の2の2に基づく消防署への点検報告制度
消防用設備等点検(総合点検)	1月25日～28日	消防法第17条に基づく消防署への点検報告制度
避難誘導訓練	6月29日 2月20日	消防計画書に基づく特定防火対象物の総合訓練
防災教育	2月20日	消防計画書に基づく教育活動 浜松市危機管理課の協力

- 防火権原者及び防火管理者の選定と「浜松科学館消防計画」の策定(浜松消防署に提出)
- 避難誘導マニュアルの作成と自衛消防隊の編成
- 災害時や警報発令時の参集基準、方法の設定(緊急連絡網の整備)
- 緊急事態に備えた教育・訓練の実施－危機管理マニュアルに基づく総合避難訓練の実施(年間2回)
- 消防署による AED 使用訓練、煙避難訓練、消火器使用訓練の実施
- 浜松市危機管理課の指導による災害図上訓練(DIG訓練)

(4) 安全管理

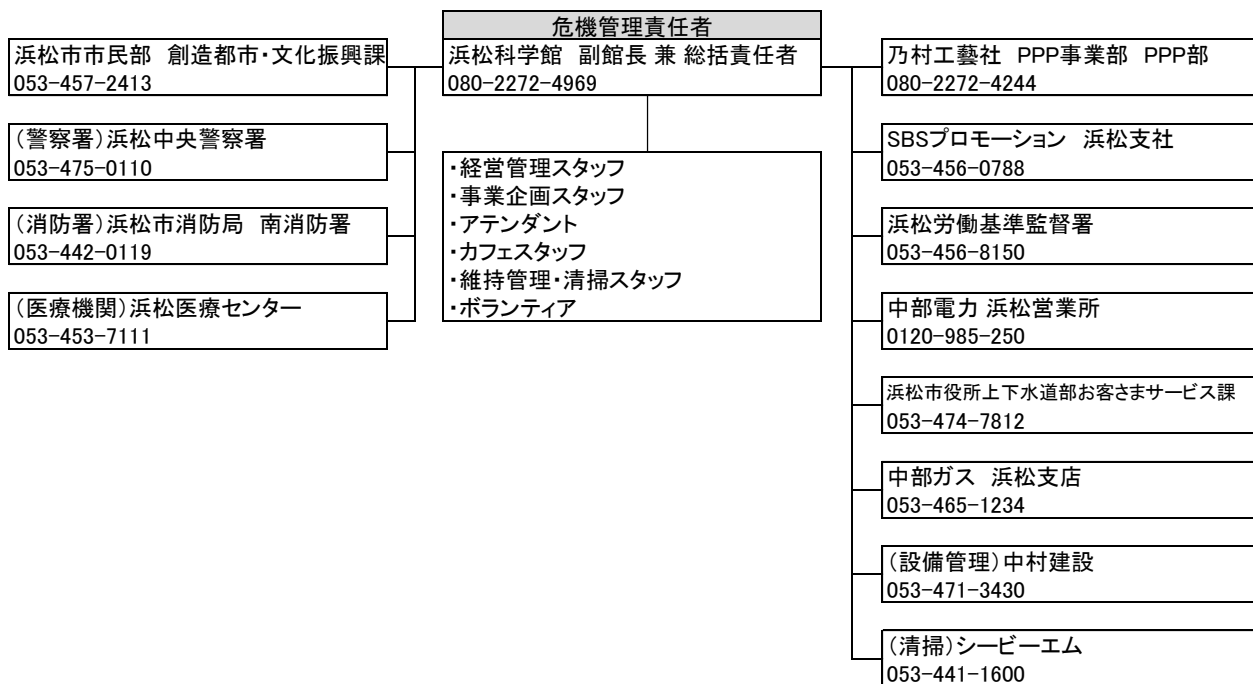
① 安全対策の基本的な考え方

来館者の安全を確保するために、上記(3)防災関係業務に基づき、施設内での事故・災害・盗難・不正・破壊等を未然に防止するよう図っています。特に、日常的な施設の施錠開閉及び入退室者の管理を行うとともに、来館者に対して細やかな心配りにより安全を確保し、危険な事態や火災・盗難等の早期発見と拡大防止に努め、災害や事故に強い施設づくりに取り組みました。

② 緊急時の対応体制

災害等の発生時には危機管理責任者を中心に連絡体制を整え、浜松市の関連部署と連携を密にした指揮命令系統をつくり、対策にあたります。令和元年東日本台風(令和元年台風第19号:2019年10月12日)上陸時等では浜松市の防災体制と連絡を取りつつ、臨時休館として施設の安全確保に努めました。

<緊急時連絡体制>



② 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス(COVID-19)による感染症対策については、新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成24年法律第31号)第32条に基づく緊急事態宣言が出される事態となりましたが、浜松科学館では、浜松市の指示により2020年3月3日から臨時休館措置を採り、そのまま年度内は休館の継続を行いました。県外からの利用者が多い施設であることと、体験型展示のために接触や密接状態が生じやすいことから、他の社会教育施設等よりも慎重な対応を図ったところです。

世界的な感染が広がる中、科学館として正確な情報を発信するために新型コロナウイルスと感染症に関するパネルを製作してエントランスホールに設置したほか、サイエンスパークの一部利用制限等も行っています。

また、臨時休館中の学習コンテンツとして「おうち DE みらいーら」をいち早くYouTubeで発信し、ほぼ毎日更新し続けています。



第1弾～第27弾の公開状況

総視聴回数 :10,077 回

ユニーク視聴者数 :2302 人

総再生時間 :407 時間

平均再生時間 :2分25秒

5. 修繕工事に関する業務

区分	件数	主要事項の概要	対応状況
故障・不具合	22件	①自動ドア動作不良 ②セミナールーム空調機動作不良 ③ドーム誘導灯壁面補強 ④会議室天井材落下補修調査 ⑤全館ホルムアルデヒド検査 ⑥ホール美術ボタン制御装置動作不良 ⑦職員控室空調機故障・交換 ⑧全館分電盤類点検 ⑨事務室・集計室錠前取付 ⑩鍵付きポスト設置 ⑪LED展示補修工事 ⑫事務室スマートグリル交換工事 ⑬サイエンスパーク芝養生用散水栓設置 ⑭サイエンスパーク花壇設置 ⑮非常階段・すべり台ドア改修工事 ⑯非常用扉 点検・調整・修繕 ⑰通用口ドア修繕 ⑱遊具破損箇所補修 ⑲全館地区停電 ⑳自動ドアガラス破損 ㉑風除室ガラス破損 ㉒展示室、機械室、会議室雨漏り	浜松市所管課に報告の上、指定管理者実施修理等 22件 (修理費約397万円) ※展示室等雨漏り、全館停電等の一部事案については様子見
損傷・破損	3件	①エントランスホール西側ガラス破損 ②トイレ便座破損 2件	②交換修理 (①浜松市による修繕)
事故・事件	13件	①体調不良・けが 11件 ②放置自転車 2件3台 ③拾得物処理 ④不審者対応	①救護室で対応 (安静、救急搬送等含む) ②～④所管警察署に届け出
意見・苦情等	2件	①夜間サイエンスパーク遊具の使用に係る近隣からの苦情 ②サイエンスパークの土砂の流出 (側溝方向) への近隣住民の指摘	①警察署に相談し夜間巡回の強化等を依頼 ②側溝・道路の清掃及び対応策検討中

V 施設貸出

(1) 業務概要

浜松市スポーツ・文化予約システム(まつぼっくり)による施設の利用申請を受付け、利用許可を行い、利用料金を徴収しました。

(2) 貸室料金等

① 利用可能時間

9:30 から 21:30 までを貸出時間とします。(準備、片付け、原状復帰の時間も含む)

② 対象施設と利用料金 (消費税及び地方消費税額含む)

対象施設	利用区分		9:30～10:00 及び 21:00～21:30	10:00～21:00 1時間につき
ホール	教育関係団体	入場料徴収なし	470 円	940 円
		入場料徴収あり	940 円	1,880 円
	その他	入場料徴収なし	940 円	1,880 円
		入場料徴収あり	1,880 円	3,770 円
セミナールーム A	教育関係団体	入場料徴収なし	160 円	320 円
		入場料徴収あり	320 円	640 円
	その他	入場料徴収なし	320 円	640 円
		入場料徴収あり	640 円	1,290 円
セミナールーム A	教育関係団体	入場料徴収なし	160 円	320 円
		入場料徴収あり	320 円	640 円
	その他	入場料徴収なし	320 円	640 円
		入場料徴収あり	640 円	1,290 円

椅子や机等の備品の貸出の他、音響、照明、冷暖房装置等の備品の有料での貸出を行います。

(3) 貸出実績

施設区分	利用団体区分	利用者数 (人)	利用料金 (円)
ホール	教育	398人	67,530円
	一般	662人	75,660円
	計	1,060人	143,190円
セミナー ルーム	一般	137人	31,150円
	計	137人	31,150円
消費財交付金 (影響額)		—	2,080円
合計		1,197人	176,420円

VI 収支報告

1 収入

(単位：円)

区 分	内 訳	予算額	決算額	執行率	差 引
(A) 収入合計 (税込)		195,788,720	191,920,260	98.0%	3,868,460
1 指定管理業務委託料	指定管理料105,426,720円 (税込)	105,426,720	109,989,720	104.3%	△ 4,563,000
2 利用料金		89,362,000	79,956,209	89.5%	9,405,791
入場料・観覧料等	常設展示・プラネタリウム等観覧料	62,534,000	60,649,589	97.0%	1,884,411
特別展入場料	夏の特別展入場料	16,319,000	17,085,500	104.7%	△ 766,500
貸館使用料	ホール、セミナールーム貸室料	1,255,000	176,420	14.1%	1,078,580
その他収入 (受益者負担金)	情報端末貸出料	666,000	11,400	1.7%	654,600
	みらいーらカード発行料	2,288,000	528,100	23.1%	1,759,900
	参加費・材料費	6,300,000	1,505,200	23.9%	4,794,800
3 補助金、協賛金等		1,000,000	1,974,331	197.4%	△ 974,331

2 支出

(単位：円)

区 分	内 訳	予算額	決算額	執行率	差 引
(B) 支出合計		194,382,720	189,009,043	97.2%	5,373,677
1 事業運営業務費		44,734,680	31,324,353	70.0%	13,410,327
常設展示運営費	保守点検、管理経費等	7,683,120	900,541	11.7%	6,782,579
プラネタリウム運営費	番組制作・借上料、保守点検、管理経費等	10,773,000	12,159,138	112.9%	△ 1,386,138
特別展・企画展運営費	企画料、製作費等	19,312,560	13,758,552	71.2%	5,554,008
教育普及事業費	ミニワーク、サイエンスショー材料費等	6,966,000	4,506,122	64.7%	2,459,878
2 広報業務費		11,923,200	3,293,272	27.6%	8,629,928
広報費、印刷費	広告媒体費、宣材印刷費等	11,923,200	3,293,272	27.6%	8,629,928
3 施設運営業務費		89,361,840	104,583,719	117.0%	△ 15,221,879
管理運営人件費	常勤・臨時職員給与等	82,587,000	88,417,991	107.1%	△ 5,830,991
運営事務費	旅費、消耗品、事務機器等借上料、保険料等	6,774,840	16,165,728	238.6%	△ 9,390,888
4 施設維持管理業務費		28,106,000	33,094,749	117.7%	△ 4,988,749
維持管理業務委託費	清掃、設備管理、保守点検等委託料	23,894,000	27,470,549	115.0%	△ 3,576,549
その他施設管理費	安全管理、修繕料等	4,212,000	5,624,200	133.5%	△ 1,412,200
5 公租公課		30,000	116,950	389.8%	△ 86,950
公租公課	印紙税等	30,000	116,950	389.8%	△ 86,950
6 一般管理費		20,227,000	16,596,000	82.0%	3,631,000
一般管理費	バックオフィス事務経費等	20,227,000	16,596,000	82.0%	3,631,000
収支 (千円) (A) - (B)		1,406,000	2,911,217	-	4,317,217

注：収入・支出項目の予算・決算額は、管理運営人件費、公租公課、一般管理費を除き消費税込額

Ⅶ 自主事業

1. 必須の自主事業

(1) ミュージアムショップ

① 事業方針

事業活動と一体的に企画・運営し、利用者の科学への興味関心を高め、帰宅後にさらに学びを深めることを支援するための商品を選定し、販売を行いました。

② 概要

- 営業日数:開館日と同じ
- 営業時間:11:00~17:00 (夏季休暇期間は 18:00 まで)

③ 販売物

事業と連動し、来館者の能動的な学びを支援するグッズや地元浜松の企業関連製品を販売し、オリジナル商品を開発しました。特に、宇宙食や実験キットは来館者に好評をいただきました。

- 常設展示のテーマ(光、力、音、自然、宇宙)やプラネタリウムに関連した教材、実験・工作材料、書籍、文具などのグッズ
- 企業展示コーナーに出展する地元企業の技術に触れられる製品(ねじブロック)
- 実験や工作のキットや道具、材料 等
- オリジナル商品の開発・販売
 - ・地元企業の技術や製品を用いたオリジナル商品
(木製パズル、知育玩具 等)
 - ・浜松科学館オリジナルデザインの商品
(ハーモニカ、LED ライト、チョコレート、キャンディ、クッキー 等)



(2) カフェ

① 事業方針

地域の事業者によるカフェ事業を展開し、科学館のアメニティーとしての価値を高める飲食サービスを提供しました。また、「サイエンスライブラリー&カフェ」として、図書や情報端末の閲覧、絵本の読み聞かせ、科学をテーマにした意見交換会(トーク・オブ・ワンダー)など、科学館事業と連携しながら運営を行いました。

② 概要

- 営業日数:開館日と同じ
- 営業時間:11:00~17:00 (夏季休暇期間は 18:00 まで)
- 席数:60 席

③ メニュー

地域の食材を活かし、発酵食品などのオーガニック食材により大人も子どもも安心して食べられるメニューを提供。また、科学の要素を取り入れたリマージュジュースなどのオリジナルメニューも話題になりました。
(メインメニュー:800 円~、ドリンクメニュー:500 円~)

2. 任意の自主事業

(1) キッチンカー出店

繁忙期により多くの利用者に地域の飲食が提供できるよう、サイエンスパークにキッチンカーを誘致しました。

浜松市公有財産管理規則(昭和 39 年規則第 30 号)第 9 条の規定に基づき、行政財産の使用許可を得て実施しています。2019 年度実績 7 月 6 日～8 月 31 日、9 月 1 日、11 月 3 日・4 日・9 日・10 日・17 日・23 日・24 日・30 日 計 58 日間出店

(2) その他

新型コロナウイルス対策で中止の自主事業イベント(2020 年 3 月 3 日～3 月 31 日)

- 『コンピューターサイエンスパーク in 浜松科学館』
未就学児～小学校低学年のための、はじめての親子プログラミング体験
2020 年 3 月 15 日(日)実施予定

3. 自主事業の収支

(単位：円)

区分	内 容	金額 (税込)	備 考
収入	ショップ売上	11,963,195円	
	ガチャ売上	408,301円	
	カフェ手数料等	1,103,022円	売上の 5% 及び行政財産目的外 使用料
	キッチンカー販売手数料等	188,505円	売上の 5% 及び行政財産目的外 使用料
	飲料用自動販売機手数料	1,972,643円	売上の%
収入合計 A		15,635,666円	
支出	行政財産目的外使用料	1,102,725円	臨時休館期間還付分を除く
	消耗品費・什器等備品費	616,507円	
	事業委託費	2,218,340円	ショップ改装・什器製作費
	商品仕入	8,498,270円	買取商品仕入(委託分消化仕入 を除く)
支出合計 B		12,435,842円	
収支差引 A-B		3,199,824円	

(注) 支出は、ショップの店舗運営に係る販売管理費等の経費を除いたもの。

Ⅷ 資料

1. 2019年度科学館入館観覧者状況
2. 2019年度イベント・講座実施状況
3. 利用者アンケート集計結果
4. メディア取材等一覧表

1. 2019 年度科学館入館観覧者状況

利用区分			利用者数 (人)	構成比	利用料金 (円)	構成比	
個人	常設展	有料	大人	46,713	27.2%	28,027,800	50.2%
			中人	1,470	0.9%	441,000	0.8%
			計	48,183	28.0%	28,468,800	51.0%
		無料	大人	11,105	6.5%	0	0.0%
			中小人	51,963	30.2%	0	0.0%
			計	63,068	36.7%	0	0.0%
		合計	111,251	64.8%	28,468,800	51.0%	
	常設展 + プラネタリ ウム・大型 映像	有料	大人	24,842	14.5%	28,164,900	50.4%
			中人	710	0.4%	395,750	0.7%
			計	25,552	14.9%	28,560,650	51.1%
		無料	大人	5,802	3.4%	0	0.0%
			中小人	29,209	17.0%	0	0.0%
			計	35,011	20.4%	0	0.0%
	合計	60,563	35.2%	28,560,650	51.1%		
観覧券	(利用者数含めず)	1,504	0.9%	579,500	1.0%		
割引	(特別展割引等)	—	—	△ 1,768,776	—		
A 個人合計			171,814	100.0%	55,840,174	100.0%	
団体	常設展	有料	大人	696	3.6%	325,800	30.2%
			中人	55	0.3%	15,420	1.4%
			計	751	3.8%	341,220	31.6%
		無料	大人	1,583	8.1%	0	0.0%
			中小人	6,807	34.9%	0	0.0%
			計	8,390	43.0%	0	0.0%
		合計	9,141	46.8%	341,220	31.6%	
	常設展 + プラネタリ ウム・大型 映像	有料	大人	817	4.2%	695,590	64.4%
			中人	107	0.5%	43,470	4.0%
			計	924	4.7%	739,060	68.4%
		無料	大人	860	4.4%	0	0.0%
			中小人	8,594	44.0%	0	0.0%
			計	9,454	48.4%	0	0.0%
	合計	10,378	53.2%	739,060	68.4%		
B 団体合計			19,519	100.0%	1,080,280	100.0%	
個人・団体合計(A+B)			191,333	—	56,920,454	—	

2. 2019年度イベント・講座実施状況

開催日	種別	名称	参加人数	内容
7月15日	サイエンスラボ	止まると沈む？ダイラタンシーからの脱出	281人	片栗粉を使った科学現象「ダイラタンシー」を体験した。プールで作り、裸足で入って、衝撃を与えると固まる。
7月27日	サイエンスラボ	謎の液体Xをつきとめろ！	15人	薬品の同定を行った。数種類の液体を、pHや糖度などを分析し特定した。
8月3日	サイエンスラボ	真夏の結晶ツリー	55人	尿素の再結晶を利用した科学実験を行った。自由研究としても活用でき、ツリーに見立て、涼しさも演出した。
8月17日	サイエンスラボ	チリメンモンスターをさがせ！	42人	ちりめんじゃこ（カタクチイワシ）の中に混ざっている他の生物をチリメンモンスターと呼び、虫眼鏡で観察しながら、探してもらった。生物多様性に触れ、生物を知るきっかけとってもらった。
9月1日	サイエンスラボ	ロウソクゴケでろうそくづくり！	24人	防災の日に合わせて、染色剤としてロウソクゴケを使いロウソクを作成した。ロウソクを作りながら、地衣類の観察を行い、防災についても意識してもらおう企画となった。
9月7日	サイエンスラボ	オオクワガタの幼虫飼育講座	41人	講師：北杜市オオムラサキセンター 人気のオオクワガタの生態や飼育方法などを学んだ。オオクワガタの幼虫と菌糸ビン（幼虫を入れる）をプレゼントした。また、講師のサイエンスショーなどもあり、昆虫について楽しく講座を行ってもらった。
10月14日	サイエンスラボ	電子顕微鏡で観察しよう！	16人	参加者が持ち寄ったサンプルを電子顕微鏡で観察、撮影し持ち帰った。ゴミムシダマシにつくダニや、子どもの歯、ミカンの葉など様々なものがあり、興味関心の高さがうかがえた。
11月10日	サイエンスラボ	うなぎいもを収穫してスイートポテトをつくろう	38人	講師：うなぎいも協同組合 サツマイモの話、スイートポテトづくりと試食、サイエンス農園で芋掘りと充実した内容になった。また、「うなぎいも」も登場し大いに盛り上がった。
11月17日	サイエンスラボ	大人サイエンス講座「トンボ玉を作ろう」	5人	ガラス細工であるトンボ玉の作製を行った。大人対象とした講座で、大人の方にも科学を楽しんでいただく機会を提供した。
12月28日～29日	サイエンスラボ	この生き物何だろう？～土壌動物編～	25人	双眼実体顕微鏡で土壌動物を観察し、検索表で同定作業を体験した。さらにスケッチし、図鑑を使って生き物を調べた。最終的に参加者全員で1冊の図鑑を作り、発表会を行った。
1月19日	サイエンスラボ	親子でバードウォッチング！	11人	双眼鏡の使用方法的なレクチャー後、馬込川へ移動し、カワセミをはじめ14種類の野鳥を観察し、身近な自然に親しんだ。
2月9日	サイエンスラボ	色変わりパンケーキを作ろう	24人	ムラサキイモパウダーを使用し、酸アルカリでの呈色反応を実験した。また、電気パンの手法も取り入れ、普段とは違うパンケーキを楽しんだ。
2月16日	サイエンスラボ	手洗って本当に大事？～手から知っていく微生物～	90人	手の微生物（菌）について、ATP測定や寒天培地での培養など、可視化しながら理解を深めてもらった。
サイエンスラボイベント 計			667人	
1月26日	でんけんラボ	電子顕微鏡で観察しよう！	2人	蝶の卵の殻や、蛾の脚の持ち込みがあり、参加者とディスカッションしながら電子顕微鏡での観察、写真撮影を行った。
でんけんラボイベント 計			2人	

開催日	種別	名称	参加人数	内容
8月10日	ものづくりラボ	カミカラ工作	42人	押すと丸まるダンゴムシのペーパークラフトを作製した。動きのある工作で人気のイベントとなった。(ペーパークラフター中村開己氏より購入)
8月11日～12日	ものづくりラボ	3Dプリンター実演ショー	325人	新規に導入した3Dプリンターを公開、来館者すべての方を対象に、デモンストレーションを行った。多くの方が写真を撮るなど興味をもってもらうことができた。
8月18日	ものづくりラボ	ビー玉迷路「コロコロことん！」をつくろう	60人	木材を加工し、コリントゲームを作製した。設計をするところから始め、ものづくりの基礎や楽しさを十分に味わってもらえた。
8月24日	ものづくりラボ	アンモナイトをつくらないど!	35人	本物のアンモナイトを使いレプリカを作製した。型取り剤で型を取り、石膏を流し込んだ。また、科学館で所有している本物の化石にも触れてもらい、興味関心を高めた。
8月25日	ものづくりラボ	Life is Tech!	42人	リニューアル特別イベントの1つ。ライフイズテックを講師に招き、中高生を対象としたプログラミング教室を開催した。
8月31日	ものづくりラボ	手作りカメラで写真を撮ろう!	35人	ピンホールカメラを作成した。また、転写フィルムを使い、実際に写真の撮影を行った。カメラの基本がわかるイベントとして好評を得た。
9月8日	ものづくりラボ	こどもいもの教室	156人	共催：YFE東海支部 家康くんや直虎ちゃんなど、好きな鋳型を選び金属を流し込んでオリジナルの鋳物を作成した。
9月14日	ものづくりラボ	電動アシストラボ	45人	共催：ヤマハ発動機(株) 講師にヤマハ発動機の方を迎え、ジャガイモを使った電池、モーターの仕組みを実験した。駐車場で電動アシスト自転車や電動車の試乗も行い、モーターの力を体感してもらった。
9月15日	ものづくりラボ	コットンキャンディーメーカーを作ろう!	32人	100円ショップのスチーマーや空き缶などを組み合わせ、綿あめ機を手作りました。後半は、自分の装置を使い、実際に綿あめを作成、試食を行った。時間いっぱいまで何度も綿あめを作り、親子で味わっていた。
9月16日	ものづくりラボ	虫めがねでつくる望遠鏡	35人	虫眼鏡、塩ビパイプなどから望遠鏡を作成した。作成しながら、レンズの仕組み(大きく見える原理など)を学び、出来上がった手作り望遠鏡で観察も行った。
9月21日	ものづくりラボ	親子電波教室	34人	共催：静岡県電波適正利用推進員協議会 電子ブロックを使ってラジオを作成、実際に作ったラジオを使って番組の視聴を行った。ラジオを作れることや、電波について知識を深めた。
9月22日	ものづくりラボ	電磁波きこえる!?	16人	身の回りにあふれる電磁波を、コイルとイヤホンを使って「音」として認識、知ってもらった。前半は装置の作成、後半は館内にある自動販売機、家電などに装置を当て、音がするかを調べた。楽しみながら、電磁波について学ぶことができた。
9月23日	ものづくりラボ	ビー玉ころころピンボールをつくろう	52人	コースの設計や木材の加工など、工作の基礎から応用まで、幅広く行った。金槌を使い、釘を打つ作業はなかなか経験がないらしく、特に楽しんで行っていた。
9月29日	ものづくりラボ	手作りギターを作って演奏しよう	81人	共催：CNS浜松、浜松市楽器博物館、協力：ヤマハ(株) ダンボールや木材などからギターを作成した。出来上がったギターを持ち、みらいーらステージで演奏会を行った。演奏会は保護者にも好評であった。
10月13日	ものづくりラボ	第15回どきどき科学探求教室	17人	共催：公益財団法人 山崎自然科学教育振興会 静岡大学の先生による講座で、力をテーマにした工作と、光をテーマにした工作を行った。

開催日	種別	名称	参加人数	内容
10月20日	ものづくりラボ	プログラミング教室	86人	講師：原田康徳氏（合同会社デジタルポケット） 原田氏が開発したプログラムアプリ「viscuit」を使用し、年齢別に 応じたプログラム教室を行った。絵を描くようにプログラムし、小 さな子でも楽しく体験できるものであった。
10月27日	ものづくりラボ	プロジェクションマッピング 体験教室	19人	共催：パワー浜松ロータリークラブ 講師：掛川西高等学校パソコン部 11/9のプロジェクションマッピングNIGHTで投映する映像を制作し た。
11月4日	ものづくりラボ	カッティングマシンを使っ て、オリジナルステッカー をつくろう	34人	講師：竹村真人（ファブラボ浜松） カッティングマシンを使い、タブレットで書いた絵をステッカーに した。新しい工作手法として、また新しい科学館の取り組みとして 継続して行っていく。
11月10日	ものづくりラボ	ねじブロックで造形してみ よう	65人	講師：橋本螺子株式会社 ねじなどの部品を組み合わせ、犬やロボットなどを造形した。
11月16日	ものづくりラボ	キャラメルサウンダー	36人	講師：伊藤尚未先生 講師を招き、本格的な電子工作を行った。半田ごてを使いながら、 電子楽器を作製した。参加者はみな、真剣にまた楽しく電子工作に 取り組んだ。
12月1日	ものづくりラボ	デジタルミシンを使ってハ ンカチに刺しゅうをしよう	23人	講師：竹村真人氏（ファブラボ浜松） デジタルミシンとタブレットを使って、オリジナルの刺しゅうを作 成した。
1月11日～ 13日	ものづくりラボ	3Dプリンター実演ショー	164人	出口ゲート付近に3Dプリンターを設置し、来館者の方に見学して 頂いた。
2月1日	ものづくりラボ	折り紙を科学する ～立体 折り紙に挑戦～	88人	講師：筑波大学教授 三谷純氏 折り紙を科学的に捉え、立体的に折るをテーマに講演会とワーク ショップを行った。
2月11日	ものづくりラボ	クリップモーターカーを作 ろう	35人	モーターの原理（コイルと磁石）を学びながら、クリップモーター を作成、動力として自動車を作った。細かな調整に苦労する部分は あったが、保護者も夢中になって取り組んでいた。
2月15日	ものづくりラボ	親指ピアノをつくろう	88人	共催：ヤマハ株式会社、浜松市楽器博物館 親指ピアノを作成し、イベント後に希望者はヤマハの企業展示「響 きの変わる部屋」へ移動しアイテムの中で親指ピアノを演奏した。
2月24日	ものづくりラボ	クルクル回転！アクロパッ ト・ジャイロゴマ	38人	ジャイロ効果を体感する工作で、コマが倒れない原理などに触れな がら、教室を行った。
ものづくりラボイベント 計			1,683人	

開催日	種別	名称	参加人数	内容
9月28日	その他	グリーンサイエンスカフェ	52人	テーマ「お茶やミカンからくすりを作る！」 小学生には少し高度な内容であったが、質問も活発に出ていた。
10月3日～14日	その他	ごみ減量天下取り大作戦・サイエンスウィーク	828人	共催：浜松市環境部ごみ減量推進課 サイエンスショーやワークショップを実施し、ごみ減量について考える機会を提供した。
10月5日～6日	その他	第28回発明とアイデア展	—	共催：浜松発明協会 発明協会の会員が制作した工作の展示や実演などが行われた。
10月19日	その他	グリーンサイエンスカフェ	35人	テーマ「静岡県の地下に眠るエネルギー!! ～地層と温泉と微生物とメタンの物語～」 微生物や地下からのメタンガスを利用した新たなエネルギー生産のビジョンが紹介された。
10月27日	その他	第4回小中学校理科研究プレゼンテーションコンテスト	303人	主催：トップガン教育システム協議会 共催：浜松市、静岡大学、浜松医科大学 夏休みに行った自由研究についての発表大会を実施した。研究はもちろんのこと、プレゼンテーションの能力も高く、大変立派な発表であった。
10月19日～20日	その他	見えない放射線を見てみよう	104人	共催：静岡エネルギー・環境懇談会 霧箱を作成し、放射線の観察を行った。参加者は、珍しい現象に興味をもって観察を行っていた。
11月9日	その他	浜松サイエンスアドベンチャー ヤマハ発動機	5人	訪問先：ヤマハ発動機 工場を訪問し、風で動くウインドカーの作製を行った。
11月9日	その他	プロジェクションマッピング NIGHT	250人	講師：掛川西高校パソコン部 協力：パワー浜松ロータリークラブ 科学館の外壁に、小学生、中学生、高校生たちが作った映像を投影した。近隣の方を中心に、多くの方が来館され、大いに盛り上がった。
11月23日～24日	その他	コピー機になってみよう	161人	講師：株式会社リコー コピー機の中で行われる6つの科学現象を実験を通して体感した。
12月7日	その他	第7回MATHやらまいか決勝大会	153人	主催：トップガン教育システム協議会 共催：浜松市、静岡大学、浜松医科大学 予選を勝ち抜いた30名の小学生による決勝大会が行われ、滑車や曼荼羅をモチーフにした課題に挑んだ。
12月14日～15日	その他	おや？なぜ！横丁2019	1,869人	14日（土）来館者791人 出展ブース：20展 15日（日）来館者1,078人 出展ブース：21展 1日20展の科学ブースが出展し、様々な実験や工作などを提供した。高校生がお互いに指導し合う様子や、企業同士の交流なども見られ、例年よりも人数は少なかったものの、中身の濃いものとなった。

開催日	種別	名称	参加人数	内容
12月21日	その他	グリーンサイエンスカフェ	38人	テーマ「第3回：生命の進化の謎に迫る！～ミドリゾウリムシとクロレラ共生の仕組み～」 ミドリゾウリムシを題材に、細胞内共生やそれに伴う環境への適応を分かりやすく紹介した。実際にスマートフォンを用いてミドリゾウリムシを観察してもらった。
12月22日	その他	自動運転の自動車を作ろう！	84人	共催：ソーラーバイクレース実行委員会「笑輪」、日本ソーラービークル協会、浜松城北工業高校、日立技術士会サイエンスクラブ LEDやセンサーを用いて、ライトレースの自動車を作成した。天竜川の間伐材や牛乳パックなどを車体を使用した。
12月26日	その他	トークオブワンダー「日食をみよう」	32人	天候不良のため、屋内でサイエンストークを行った。 日食の仕組みを地上視点と宇宙視点から解説し、お客様自身も日食の疑似体験してもらった。
1月4日～6日	その他	昔あそび広場	1,082人	けん玉やコマ、めんこ、達磨落としなど昔のおもちゃを体験してもらうイベントを実施した。
1月18日	その他	特別ワークショップまつり	748人	全国科学館連携協議会東海ブロック加盟館によるワークショップを開催した。前日には、ブロック研修会において、ワークショップについて研修を行った。
2月2日、 2月4日～7日	その他	トークオブワンダー～知って楽しい科学のお話～ 「生き物から学ぶ!?恋愛術」	34人	共催：カフェ「Sense of Wonder」 サイエンスカフェ形式のイベントを行った。バレンタイン企画として恋愛をテーマに、生物学的な求愛行動を面白可笑しく学んだ。
2月23日	その他	浜松サイエンスアドベンチャー 佐鳴湖でバードウォッチング	18人	講師：日本野鳥の会遠江 日本野鳥の会遠江会員3名を講師に、佐鳴湖で野鳥観察を行った。冬鳥であるカモ類、ツグミ類を中心に観察し、身近にも多くの野鳥がいることを体感した。
2月17日	その他	日立サイエンスショーフェスティバル出演	303人	日立シビックセンター科学館で実施されたサイエンスショーフェスティバルに出演した（演目は空気）。 また、翌日行われた関係者向きの研修会の講師も務めた。 参加者内訳：一般250人、関係者53人
9月1日	※その他	教材貸し出し	1人	教材貸し出し 貸出先：磐田南高校 教材名：リバージオモデル
9月7日～ 12月14日	※その他	教材貸し出し	2人	教材貸し出し 貸出先：北杜市オオムラサキセンター 教材名：昆虫入りコハク、ウミサソリの一種の化石
9月16日	※その他	教材貸し出し	1人	教材貸し出し 貸出先：曳馬小学校 教材名：リバージオモデル

開催日	種別	名称	参加人数	内容
10月11日	※その他	教材貸し出し	1人	教材貸し出し 貸出先：竜禅寺小学校 教材名：リバージオモデル
12月1日～28日	その他	教材貸し出し	一	教材貸し出し 貸出先：北杜市オオムラサキセンター 教材名：昆虫入りコハク、ウミサソリの一種の化石
3月13～26日	※その他	教材貸し出し	10人	教材貸し出し 貸出先：細江図書館 教材名：恐竜の化石など10点
7月9日	※その他（外部）	北杜市オオムラサキセンター（外部講師）	46人	講師：サイエンスチーム 小粥 オオムラサキの幼虫・蛹・成虫を観察、間伐材を使ったバードコール作りをととして里山環境の重要性を学んだ。
10月19日	その他（外部）	中山間地域フェア2019（山フェス）出演	50人	「マウンテンすごいねん」 山にちなんだ実験（造山、風、気圧など）を新たに作成、実演を行った。
11月2日	その他（外部）	サーラ大感謝祭出演(外部)	500人	出展：ワークショップ「クリップバッタをつくろう」 三角クリップを使い、バッタのように飛ぶ工作を行った。
11月16日	その他（外部）	北杜市オオムラサキセンター（外部講師）	17人	講師：サイエンスチーム 小粥 オオムラサキの幼虫をはじめ、周囲の環境に擬態した越冬する昆虫を探し、里山の生物の多様性を学んだ。
2月22日	その他（外部）	自然いきものかんさつ隊 「冬越しする虫を探そう！」（外部講師）	38人	講師：サイエンスチーム 小粥 バードピア浜北のイベント講師を行った。擬態してじっと越冬している昆虫を探し、擬態の面白さや捕食・被食など自然のサイクルを学んだ。
その他イベント 計			6,462人	
7月4日	教育機関連携	理科教員研修	36人	プラネタリウムの見学と館内見学を行ってもらった。
7月13日	教育機関連携	リフレッシュ理科教室	216人	共催：応用物理学会東海支部 「3倍楽しい光の工作」をテーマに、鏡や偏光板を使った工作を行った。
7月27日～28日	教育機関連携	理科自由研究・発明くふう作品の相談	65組	協力：市内理科教員 理科の自由研究の相談を行った。
8月2日	教育機関連携	理科部研修会	269人	プラネタリウムの見学と館内見学を行った。
8月3日 8月4日	教育機関連携	発明くふう展の相談	6組	協力：浜松経済クラブ 発明くふう展の相談を行った。
8月3日 8月4日	教育機関連携	理科自由研究の相談	31組	協力：市内理科教員 理科の自由研究の相談を行った。

開催日	種別	名称	参加人数	内容
8月13日	教育機関連携	◎リニューアルオープン記念 天野名誉館長トークショー	100人	リニューアル特別イベントの1つとして、天野浩名誉館長のトークショーを実施した。 当館の上野が聞き手となり、私生活から最新の研究まで、楽しくご講演をいただいた。 参加希望が多く、定員を大幅に増やして実施した。
8月13日	教育機関連携	◎リニューアルオープン記念 天野名誉館長 特別実験教室	103人	小学生高学年を対象とし、光をテーマにした実験や工作を天野名誉館長とともに実施した。子どもたちには直接、先生から指導してもらおうという貴重な経験から、光についての興味関心を高めてもらった。
8月16日	教育機関連携	静岡県教育懇話会	76人	館内見学と科学館リニューアルに関する紹介を行った。
9月7日 ～23日	教育機関連携	第41回浜松市小中学生発明くふう展 理科自由研究展	866人	主催：浜松経済クラブ、浜松市教育委員会理科研究部 夏休みに子どもたちが取り組んだ、発明の工作や自由研究をホールに展示し、多くの来館者に見て頂いた。
9月10日 ～21日	教育機関連携	博物館学芸員実習	1人	静岡文化芸術大学 1名 アクティブ展示解説を考案、実施までを実習した。28名の来館者の前でデモンストレーションを行った。
11月3日	教育機関連携	発明くふう展表彰式	240人	発明くふう展の表彰式を実施した。
11月3日	教育機関連携	櫻場賞表彰式	88人	櫻場賞の表彰式を実施した。
11月8日 14日～15日 21日～22日 26日～27日	※教育機関連携	職場体験学習	19人	浜松学院中学校 2名 積志中学校 4名 可美中学校 5名 東陽中学校 8名 展示の案内補助や、ワークショップ準備などを実施した。
11月30日	教育機関連携	理科楽習講座Ⅳ	10人	浜松科学館の効果的な学校団体の利用方法を紹介した。
12月5日 ～6日	教育機関連携	職場体験学習	4人	浜松西高等学校中学部 4名 展示の案内補助や、ワークショップ、おやなぜ横丁準備などを行ってもらった。
1月28日 ～2月2日	※教育機関連携	博物館学芸員実習	1人	八洲学園大学科目等履修生による博物館実習を行った。 展示の解説や、教材開発を行った。
教育機関連携事業 計			2,131人	
9月12日	GOGOサイエンス事業	浜松聴覚特別支援学校	29人	テーマ「すごいかぜ」対象：3～6年 プロワーを使い、発泡スチロール球を浮かしたり、風船リングを回したりと、風をテーマにしたサイエンスショーを行った。
9月17日	GOGOサイエンス事業	竜禅寺小学校	46人	テーマ「空飛ぶ科学」対象：3年生 熱気球やロケットなど、飛ぶものを対象にサイエンスショーを行った。
9月20日	GOGOサイエンス事業	佐久間小学校	34人	テーマ「空飛ぶ科学」対象：全校児童 熱気球やロケットなど、飛ぶものを対象にサイエンスショーを行った。またミニワークとして、ペーパージャイロの工作を全員で行った。
9月25日	GOGOサイエンス事業	上島小学校	135人	テーマ「すごいかぜ」対象：3～6年 プロワーを使い、発泡スチロール球を浮かしたり、風船リングを回したりと、風をテーマにしたサイエンスショーを行った。

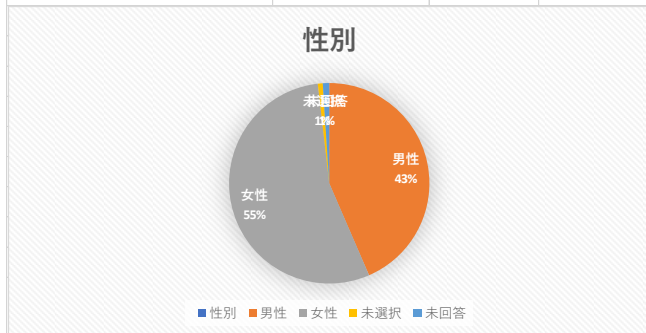
開催日	種別	名称	参加人数	内容
10月4日	GOGOサイエンス事業	二俣小学校	55人	テーマ「すごいかぜ」対象：3～6年 ブローラーを使い、発泡スチロール球を浮かしたり、風船リングを回したりと、風をテーマにしたサイエンスショーを行った。
10月9日	GOGOサイエンス事業	奥山小学校	80人	テーマ「シャボン玉パーティ」対象：全校 シャボン玉をテーマにしたサイエンスショーを実施した。
10月18日	GOGOサイエンス事業	西気賀小学校	12人	テーマ「空飛ぶ科学」対象：3,4年生 熱気球やロケット等飛ぶものを対象にサイエンスショーを行った。
10月24日	GOGOサイエンス事業	都田小学校	56人	テーマ「超低温の世界」対象：4～6年生 液体窒素を使用したサイエンスショーを行った。
11月13日	GOGOサイエンス事業	横山小学校	38人	テーマ「空飛ぶ科学」対象：全校 飛ぶものをテーマに、サイエンスショーを行った。
11月20日	GOGOサイエンス事業	天竜特別支援学校	35人	テーマ「超低温の世界」対象：4～6年、中学部 液体窒素を使用したサイエンスショーを行った。
11月28日	GOGOサイエンス事業	下阿多古小学校	73人	テーマ「シャボン玉パーティ」対象：全校 シャボン玉をテーマにしたサイエンスショーを実施した。
12月3日	GOGOサイエンス事業	浜北特別支援学校	229人	テーマ「シャボン玉パーティ」対象：小学部141人、中学部88人 シャボン玉をテーマに、サイエンスショーを行った。
12月4日	GOGOサイエンス事業	与進北小学校	102人	テーマ「超低温の世界」対象：4年生 液体窒素をテーマに、サイエンスショーを行った。
1月16日	GOGOサイエンス事業	大瀬小学校	53人	テーマ「シャボン玉パーティ」対象：3年生 シャボン玉をテーマに、サイエンスショーを行った。
1月21日	GOGOサイエンス事業	村櫛小学校	90人	テーマ「空気は力持ち」対象：3年生～6年生 大気圧をテーマに、サイエンスショーを行った。
1月23日	GOGOサイエンス事業	積志中学校 萩原分校	47人	テーマ「超低温の世界」対象：小年生、中学生 液体窒素をテーマに、サイエンスショーを行った。
2月7日	GOGOサイエンス事業	西部特別支援学校	13人	テーマ「すごいかぜ！」対象：1、4、5、6年生 風をテーマに、サイエンスショーを行った。
GOGOサイエンス事業 計			1,127人	
10月6日～14日	※特別サイエンスショー	エコサイエンスショー	390人	協力：浜松市 環境部ごみ減量推進課 「うえちゃんのエコでえーことしまSHOW」 ゴミを分別しながら、実験を披露した。分別回収の大切さや、エコについて考えてもらう機会とした。
3月3日～31日	You Tubeによる動画配信	おうちDEみらいーら 第1弾～第27弾	10,077回	ユニーク視聴者数：2302人 総再生時間：407時間 平均再生時間：2分25秒
合計			12,462人	1組は2人で換算 ※（月次に記載なし）も含む

各事業参加人数内訳

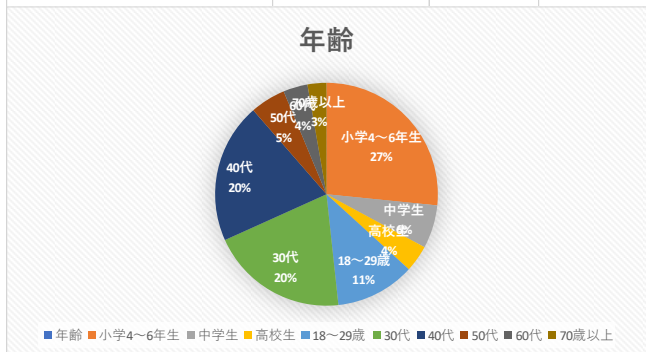
サイエンスライベント	667人
でんけんライベント	2人
ものづくりライベント	1,683人
その他イベント	6,462人
教育機関連携事業	2,131人
GOGOサイエンス事業	1,127人
特別サイエンスショー	390人
合計	12,462人

3. 利用者アンケート集計結果 (実施期間:2019年8月3日~2020年3月1日 回答数:876件※ランダムサンプリング)

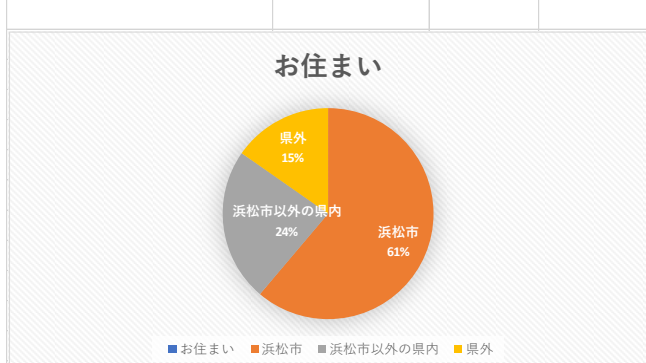
性別	8/3~	11/21~3/1
男性	381	218
女性	479	289
未選択	7	5
未回答	9	9



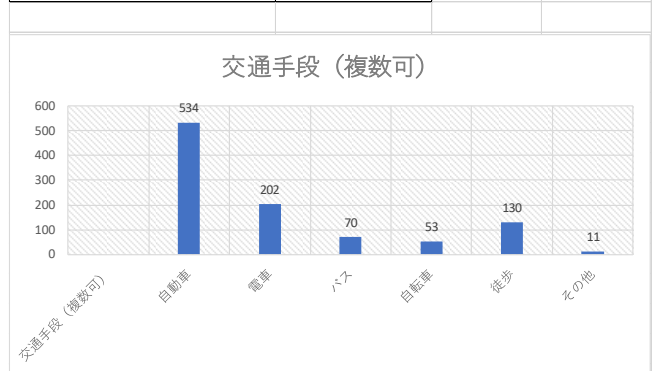
年齢	8/3~	11/21~3/1
小学4~6年生	233	167
中学生	55	35
高校生	34	21
18~29歳	101	51
30代	175	108
40代	178	80
50代	45	23
60代	31	17
70歳以上	24	10



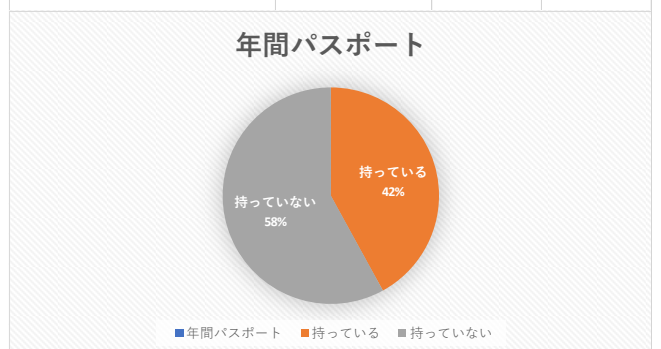
お住まい	8/3~	11/21~3/1
浜松市	536	329
浜松市以外の県内	206	124
県外	134	59



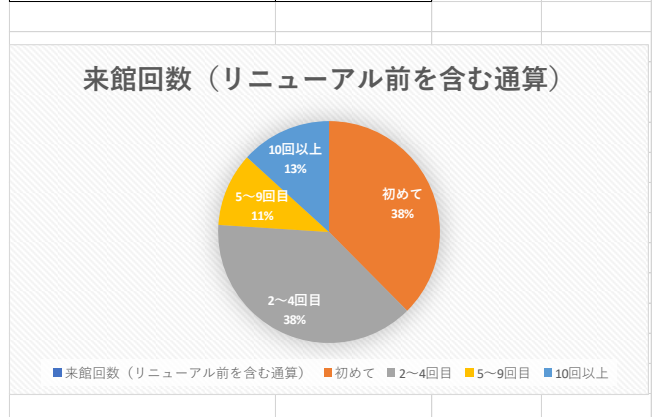
交通手段 (複数可)	8/3~	11/21~3/1
自動車	534	328
電車	202	96
バス	70	51
自転車	53	29
徒歩	130	68
その他	11	5



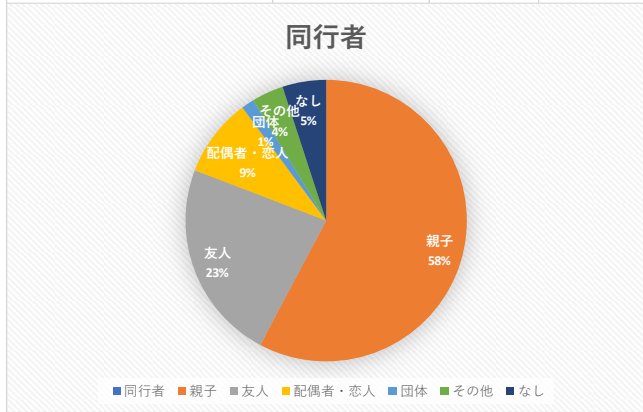
年間パスポート	8/3~	11/21~3/1
持っている	368	35
持っていない	508	477



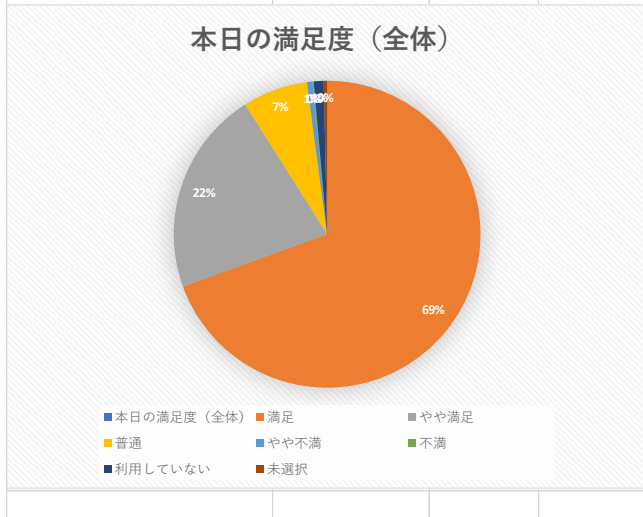
来館回数 (リニューアル前を含む通算)	8/3~	11/21~3/1
初めて	329	188
2~4回目	337	203
5~9回目	94	54
10回以上	116	67



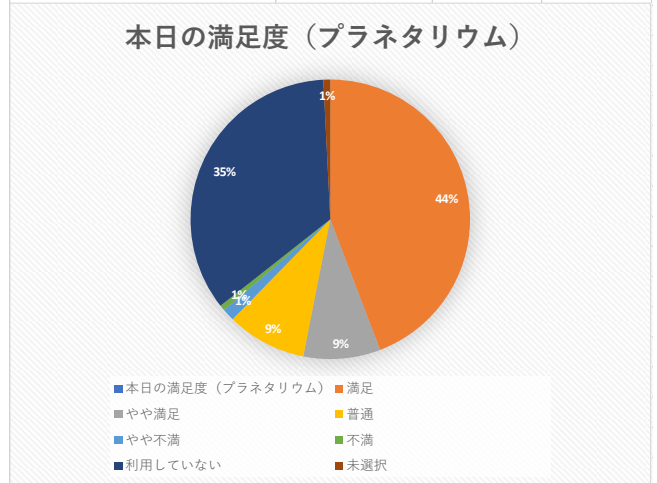
同行者			
親子	506	300	206
友人	202	126	76
配偶者・恋人	79	35	44
団体	13	8	5
その他	32	18	14
なし	44	25	19



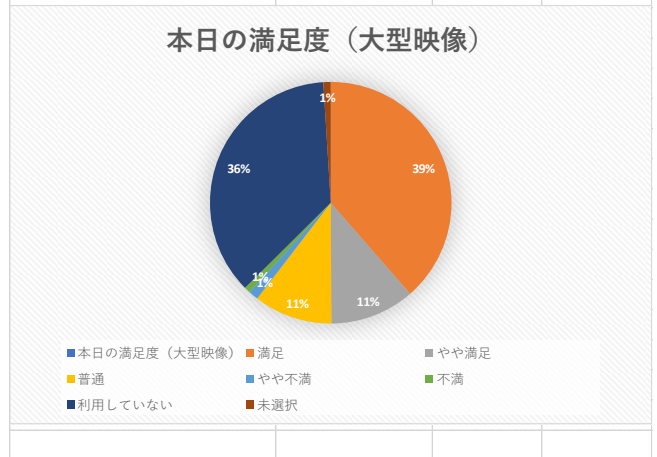
本日の満足度（全体）			
満足	596	236	360
やや満足	185	90	95
普通	59	25	34
やや不満	5	1	4
不満	1	0	1
利用していない	9	9	1
未選択	3	3	



本日の満足度（プラネタリウム）			
満足	278	177	101
やや満足	56	36	20
普通	58	42	16
やや不満	9	6	3
不満	4	4	0
利用していない	219		219
未選択	5		5

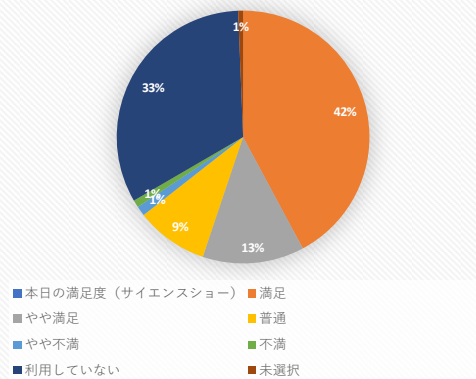


本日の満足度（大型映像）			
満足	235	144	91
やや満足	69	42	27
普通	64	50	14
やや不満	8	5	3
不満	5	4	1
利用していない	222		222
未選択	6		6



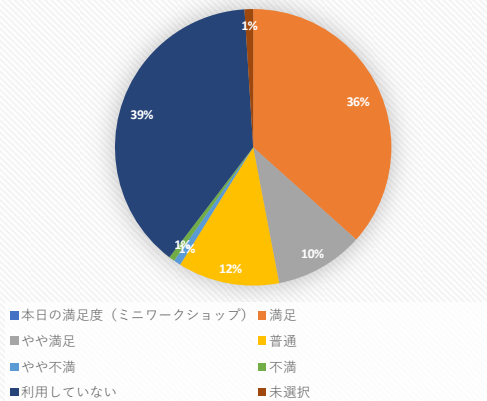
本日の満足度（サイエンスショー）		
満足	269	89
やや満足	83	36
普通	59	23
やや不満	8	2
不満	6	1
利用していない	209	209
未選択	4	4

本日の満足度（サイエンスショー）



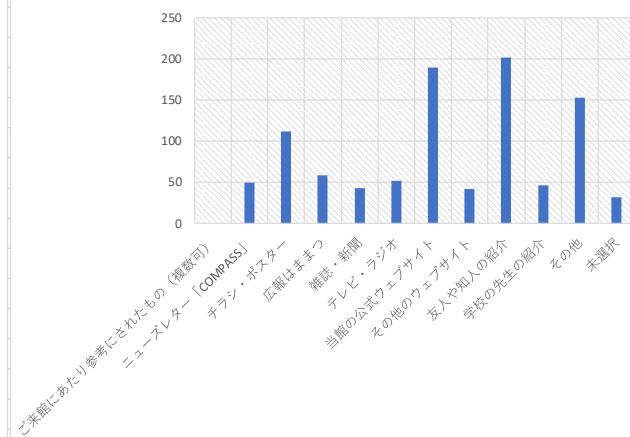
本日の満足度（ミニワークショップ）		
満足	219	76
やや満足	62	27
普通	71	22
やや不満	5	2
不満	4	0
利用していない	231	231
未選択	6	6

本日の満足度（ミニワークショップ）



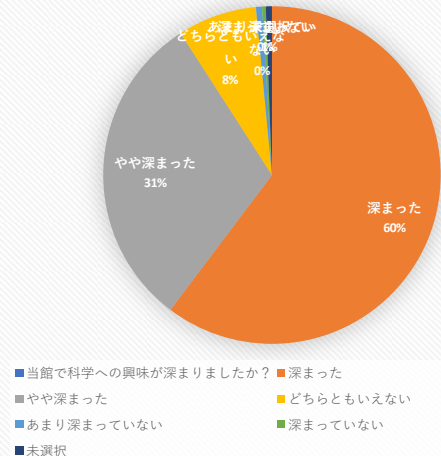
ご来館にあたり参考にされたもの（複数可）		
ニューズレター「COMPASS」	50	23
チラシ・ポスター	112	37
広報はままつ	59	26
雑誌・新聞	43	11
テレビ・ラジオ	52	24
当館の公式ウェブサイト	190	116
その他のウェブサイト	42	18
友人や知人の紹介	202	81
学校の先生の紹介	46	19
その他	153	73
未選択	32	32

ご来館にあたり参考にされたもの

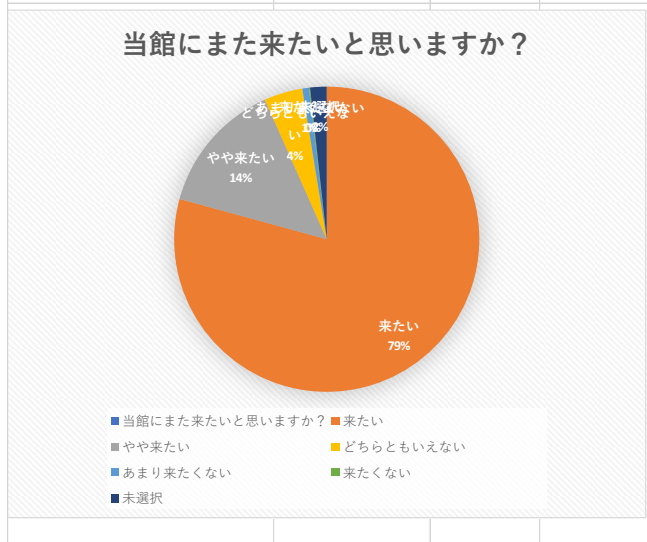


当館で科学への興味が深まりましたか？		
深まった	516	201
やや深まった	262	121
どちらともいえない	65	34
あまり深まっていない	5	2
深まっていない	3	1
未選択	5	5

当館で科学への興味が深まりましたか？



当館にまた来たいと思いますか？			
来たい	680	421	259
やや来たい	121	57	64
どちらともいえない	35	13	22
あまり来たくない	6	3	3
来たくない	1	0	1
未選択	15		15



4. メディア取材等一覧表

取材日	掲載(放送)日	メディア名	取材内容	
	7月1日	静岡第一テレビ	リニューアル	
7月1日	7月1日	テレビ静岡	リニューアル	
7月1日		静岡第一テレビ	リニューアル	
7月1日		静岡朝日テレビ	式典	
7月1日	7月1日	SBSテレビ	式典ほか	
7月1日		浜松ケーブルテレビ	式典ほか	
7月1日	7月1日	静岡新聞	式典	
7月1日	7月2日	静岡新聞	内覧会	
7月1日	7月2日	中日新聞	式典ほか	
7月1日	7月2日	産経新聞	式典ほか	
7月1日	7月10日	静岡新聞	リニューアル	
7月2日		建通新聞	リニューアル	
7月2日	7月12日	静岡第一テレビ	リニューアル	
	7月3日	SBSテレビ	リニューアル	
	7月4日	静岡新聞びぶれ	リニューアル	
7月4日	7月11日	名古屋テレビ	リニューアル	
	7月5日	地球の歩き方	リニューアル	
7月5日	7月5日	オンモプラス	リニューアル	
7月6日	7月6日	SBSラジオ	リニューアル	
7月6日	7月7日	静岡新聞	リニューアル(音ゾーン)	
7月6日	7月6日	SBSテレビ	オープン、感謝状セレモニー	
7月8日		まっぶる静岡		
7月8日	7月8日	浜松経済新聞	リニューアル	
7月9日	7月9日	K-mix	リニューアル	
7月9日	7月12日	ハマラボ	リニューアル	
7月9日	7月24日	浜松ものづくりプロジェクト		
7月10日	7月13日	FM Haro	リニューアル	
7月10日	7月10日	FM Haro	リニューアル	
7月10日	7月26日	ばど	リニューアル	
7月11日	8月1日	静岡新聞びぶれ	カフェ	
7月12日	7月12日	SBSラジオ	リニューアル	
7月12日		静岡第一テレビ	リニューアル	
7月16日		静岡新聞		
7月17日	7月17日	NHK	サイエンスショー、展示リニューアル	
7月18日	7月18日	K-mix	リニューアル(小粥さん)	
7月20日	7月21日	静岡新聞	夏の特別展	
7月20日		SBSテレビ	夏の特別展	
	7月20日	7月24日	東日新聞	夏の特別展
	7月22日		月間Cheek	リニューアル、プラネタリウム
	7月22日		全科協News	リニューアル
	7月23日	8月20日	LINEトラベル	リニューアル
	7月23日	8月13日	LINEトラベル	特別展
	7月26日	11月1日	まっぶる静岡	リニューアル
	7月27日	9月25日	ジバンギ倶楽部	リニューアル
	7月29日	8月27日	ご当地Vtuber「葵わさび」	館全体
	7月31日		るるぶ静岡	サイエンスショー、プラネタリウム
	8月1日	8月30日	ばど	キッズプラネタリウム
	8月1日	9月6日	静岡新聞びぶれ	生解説プラネ「宇宙へGO」
	8月2日	8月2日	SBSラジオ	リニューアル
	8月3日		関塾(かんじゅく)タイムス	リニューアル
	8月5日	9月5日	AERA with Kids	リニューアル
	8月5日	8月6日	静岡新聞	官民連携プラットフォーム
	8月7日	8月23日	読売新聞	サイエンスショー、自由研究
	8月7日	8月10日	FM Haro	夏の特別展
	8月8日	8月9日	静岡朝日テレビ	プラネタリウム、常設展
	8月8日	9月1日	浜松ケーブルテレビ	プラネタリウム、常設展
	8月8日		ウォーカープラス	プラネタリウム
	8月13日	8月14日	静岡新聞	天野先生
	8月13日		読売新聞	天野先生
	8月13日	8月13日	静岡第一テレビ	天野先生
	8月13日		浜松ケーブルテレビ	天野先生
	8月14日	8月14日	FM Haro	夏の特別展
	8月19日	8月20日	静岡新聞	夏の特別展3万人
	8月19日	8月19日	SBSテレビ	夏の特別展3万人
	8月22日	9月8日	YOMOと静岡	スタッフ図鑑(小粥さん)
	8月25日	8月27日	子育て情報サイトびっぴ	カフェ
	8月26日	10月25日	浜松はなまる	館全体
	8月27日	8月30日	NHK	
	8月28日	8月29日	SBSテレビ	館全体、特別展
	8月29日	10月8日	浜名湖観光圏パンフレット	館全体
	8月30日	8月30日	静岡朝日テレビ	
	8月31日	9月1日	静岡新聞	入場者10万人
	8月31日	9月1日	中日新聞	入場者10万人
	8月31日		読売新聞	入場者10万人
	8月31日	9月1日	朝日新聞	入場者10万人

取材日	掲載(放送)日	メディア名	取材内容	取材日	掲載(放送)日	メディア名	取材内容
9月6日	10月1日	静岡マツダ季刊誌「Meets」	館全体		1月1日	ばど	サイフォンコップ
9月6日	10月1日	情報誌「企業経営」	リニューアル		1月1日	浜松百撰	生解説プラネ「地球外生命」
9月6日	10月3日	静岡新聞ひぶれ	よるぞら	1月4日	1月12日	YOMOっと静岡	スタッフ図鑑(小栗さん)
9月10日	10月5日	天文ガイド	プラネタリウムリニューアル	1月7日	1月11日	FM Haro	生解説プラネ「地球外生命」
9月10日	9月14日	FM Haro	サイエンスショー、ミニワーク	1月8日	1月8日	FM Haro	2020年の注目の出来事
9月11日	9月11日	FM Haro		1月8日	2月6日	静岡新聞ひぶれ	ノーベル賞フォーラム
9月13日		冬びあ			2月上旬	るるぶこどもとあそび首都圏	館全体
9月28日	9月29日	静岡新聞	グリーンサイエンスカフェ	1月9日	2月上旬	るるぶこどもとあそび名古屋	館全体
	10月1日	ばど		1月9日	2月上旬?	びあMOOK「こどもとおでかけ」	館全体
10月4日	10月11日	中日新聞	笹ヶ瀬隕石	1月14日		TOKAI情報誌?	館全体
10月4日	10月5日	浜松経済新聞	大型映像「星の旅」	1月16日	3月上旬	ドライブびあ東海版	館全体
10月6日	10月7日	静岡新聞	ごみ減量サイエンスウィーク	1月18日	1月20日	浜松ケーブルテレビ	特別ワークショップまつり
10月8日	10月12日	FM Haro		1月18日	2月29日	東海じゃらん	館全体
10月8日	11月7日	静岡新聞ひぶれ	大型映像「星の旅」	1月21日		じゃらんべビー-2020	キッズサイエンスランド
10月9日	10月9日	FM Haro	ノーベル物理学賞ほか	1月30日	2月16日	YOMOっと静岡	ノーベル賞フォーラム等?
10月15日	12月1日	浜松百撰	上野さんインタビュー?	1月31日	3月19日	東海walker	館全体
	11月1日	ばど	プロジェクトマップング	2月4日	2月8日	FM Haro	トークオブワンダー
10月27日	10月29日	静岡新聞	小・中学生理科研究プレゼン	2月5日		小学館「宇宙探検えほん」	館全体(主に宇宙ゾーン)
10月27日	10月29日	中日新聞	小・中学生理科研究プレゼン	2月6日	3月5日	静岡新聞ひぶれ	大型映像「タートルオデッセイ」
	11月7日	静岡新聞ひぶれ	よるぞら、プロジェクトマップング	2月7日		るるぶ&more	館全体
11月3日	11月4日	中日新聞	櫻場賞受賞式	2月9日	3月上旬	るるぶ浜松	館全体
11月3日	11月5日	静岡新聞	櫻場賞受賞式	2月12日	2月12日	FM Haro	生解説プラネ「地球外生命」
11月5日	11月9日	FM Haro	ショップ、プロジェクトマップング	2月21日		日帰りドライブびあ静岡版	館全体
11月7日	12月5日	静岡新聞ひぶれ	生解説プラネ「ブラックホール」	2月25日	2月28日	中日新聞	雲
11月7日	11月10日	YOMOっと静岡	スタッフ図鑑(天井さん)	2月27日	3月16日	テレビ神奈川	館全体、サイエンスショー
11月8日	11月17日	YOMOっと静岡		3月1日	3月8日	YOMOっと静岡	スタッフ図鑑(権さん)
11月8日	11月9日	静岡新聞	プロジェクトマップングNIGHT	3月3日	3月3日	NHK	おうちDEみらいーら
11月9日	11月12日	静岡新聞	プロジェクトマップングNIGHT	3月4日	3月5日	静岡新聞	おうちDEみらいーら
11月13日	11月13日	FM Haro		3月6日	3月7日	中日新聞	おうちDEみらいーら
11月23日	11月24日	静岡新聞	コピー機になってみよう	3月10日	3月14日	FM Haro	おうちDEみらいーら等
11月28日	12月1日	まいぶれ浜松	大型映像「星の旅」等	3月11日	3月11日	FM Haro	おうちDEみらいーら等
	12月1日	ばど	おやなげ横丁	3月11日	3月12日	静岡新聞	クローン桜
	12月5日	TBS	プラネ (ごろ寝シート)	3月18日	3月19日	NHK	クローン桜
12月3日	12月下旬	春夏秋冬びあ	館全体	3月19日	3月20日	トクバイ	おうちDEみらいーら
12月4日	12月25日	サンディ	昔あそび広場				
12月5日	1月9日	静岡新聞ひぶれ	生解説プラネ「地球外生命」				
12月7日	12月8日	静岡新聞	MATHやらまいか				
12月7日	12月8日	中日新聞	MATHやらまいか				
12月10日	12月10日	K-mix	プラネタリウム				
12月10日	12月14日	FM Haro	カフェ、おやなげ横丁				
12月11日	12月11日	NHK	吉野先生受賞関連イベント				
12月11日	12月11日	FM Haro	ふたご座流星群、ノーベル賞				
12月14日	12月15日	静岡新聞	おやなげ横丁				
	12月15日	YOMOっと静岡	昔あそび広場				
	12月21日	静岡新聞	星の旅				
12月22日	12月23日	中日新聞	自動運転の自動車を作ろう				
12月22日	12月25日	静岡新聞	自動運転の自動車を作ろう				
12月27日	12月27日	SBSラジオ	プラネタリウムなど				
12月27日	12月28日	中日新聞	門松				

令和元年度浜松科学館事業報告書

令和2年5月

浜松科学館指定管理者

乃村工藝社・SBSプロモーション共同事業体

〒430-0923 浜松市中区北寺島町 256 番地の3

Tel.053-454-0178 Fax.053-454-0184

info@mirai-ra.jp